議案第83号～第94号

令和5年11月24日

令和5年12月定例議会議案

鈴 鹿 市

議 案 目 次

議案第 83 号	基本構想の策定について……………	1
議案第 84 号	鈴鹿市条例の読点の表記を改める条例の制定について……………	3
議案第 85 号	左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例の廃止について……………	7
議案第 86 号	鈴鹿市税条例の一部改正について……………	11
議案第 87 号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について…	17
議案第 88 号	鈴鹿市職員給与条例等の一部改正について……………	25
議案第 89 号	鈴鹿市適応指導教室設置条例の一部改正について……………	61
議案第 90 号	鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について……………	65
議案第 91 号	工事請負契約の締結について……………	85
議案第 92 号	指定管理者の指定について……………	87
議案第 93 号	市道の認定について……………	89
議案第 94 号	市道の廃止について……………	93

基本構想の策定について
基本構想を次のとおり策定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

(鈴鹿市総合計画2031基本構想 別冊)

提案理由

鈴鹿市まちづくり基本条例第17条の規定により、総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想を策定するについて、鈴鹿市議会の議決すべき事項を定める条例の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例の読点の表記を改める条例の制定について
鈴鹿市条例の読点の表記を改める条例を次のように制定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

鈴鹿市条例の読点の表記を改める条例
(別 紙)

提案理由

国の公用文及び社会一般の文書における読点の表記の実態に鑑み、市の条例に用いられている読点の表記を一括して改めるについて、地方自治法第96条第1項の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例第 号

鈴鹿市条例の読点の表記を改める条例

この条例の施行の際現に公布されている鈴鹿市条例において読点として表記する「, 」を「、」に改める。

附 則

この条例は、令和6年1月1日から施行する。

議案第 8 5 号

左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例の廃止について
左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例を廃止する条例を次の
ように制定する。

令和 5 年 1 1 月 2 4 日提出

鈴鹿市長 末 松 則 子

左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例を廃止する条例
(別 紙)

提案理由

左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例を廃止するについて、
地方自治法第 9 6 条第 1 項の規定により、この議案を提出する。

(別 紙)

鈴鹿市条例第 号

左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例を廃止する条例

左横書きの実施に伴う鈴鹿市条例の書式の改正に関する条例（昭和35年鈴鹿市条例第4号）は、廃止する。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

鈴鹿市税条例の一部改正について

鈴鹿市税条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

鈴鹿市税条例の一部を改正する条例

(別 紙)

提案理由

市税に係る督促手数料を廃止するほか、市税の減免に係る申請期限を改めるについて、地方自治法第96条第1項の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例第 号

鈴鹿市税条例の一部を改正する条例

鈴鹿市税条例（昭和25年鈴鹿市条例第77号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(用語)</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 徴収金 市税並びにその延滞金、過少申告加算金、不申告加算金、重加算金及び滞納処分費をいう。</p> <p>(3)・(4) 略</p> <p><u>第21条及び第22条</u> 削除</p> <p><u>第27条から第30条まで</u> 削除</p> <p>(市民税の減免)</p>	<p>(用語)</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 徴収金 市税並びにその<u>督促手数料</u>、延滞金、過少申告加算金、不申告加算金、重加算金及び滞納処分費をいう。</p> <p>(3)・(4) 略</p> <p><u>(督促手数料)</u></p> <p><u>第21条</u> 徴税吏員は、<u>督促状を発した場合においては、督促状1通について50円の督促手数料を徴収しなければならない。ただし、やむを得ない理由があると認める場合においては、これを徴収しない。</u></p> <p><u>第22条</u> 削除</p> <p><u>第27条から第29条まで</u> 削除</p> <p><u>第30条</u> 削除</p> <p>(市民税の減免)</p>

第51条 略

2 前項の規定によつて市民税の減免を受けようとする者は、納期限までに、次に掲げる事項を記載した申請書に減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して市長に提出しなければならない。

(1)～(3) 略

3 略

(固定資産税の減免)

第72条 略

2 前項の規定によつて固定資産税の減免を受けようとする者は、納期限までに、次に掲げる事項を記載した申請書にその減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して、市長に提出しなければならない。

(1)～(5) 略

3 略

(種別割の減免)

第89条 略

2 前項の規定によつて種別割の減免を受けようとする者は、納期限までに、当該軽自動車等について減免を受けようとする税額及び次の各号に掲げる事項を記載した申請書に減免を必要とする事由を証明する書類を添付し、これを市長に提出しなければならない。

(1)～(8) 略

3 略

(身体障害者等に対する種別割の減免)

第51条 略

2 前項の規定によつて市民税の減免を受けようとする者は、納期限前7日までに、次に掲げる事項を記載した申請書に減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して市長に提出しなければならない。

(1)～(3) 略

3 略

(固定資産税の減免)

第72条 略

2 前項の規定によつて固定資産税の減免を受けようとする者は、納期限前7日までに、次に掲げる事項を記載した申請書にその減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して、市長に提出しなければならない。

(1)～(5) 略

3 略

(種別割の減免)

第89条 略

2 前項の規定によつて種別割の減免を受けようとする者は、納期限前7日までに、当該軽自動車等について減免を受けようとする税額及び次の各号に掲げる事項を記載した申請書に減免を必要とする事由を証明する書類を添付し、これを市長に提出しなければならない。

(1)～(8) 略

3 略

(身体障害者等に対する種別割の減免)

第90条 略

2 前項第1号の規定によつて種別割の減免を受けようとする者は、納期限までに市長に対して、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により交付された身体障害者手帳（戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条の規定により戦傷病者手帳の交付を受けている者で身体障害者手帳の交付を受けていないものにあつては、戦傷病者手帳とする。以下この項において「身体障害者手帳」という。）、厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳（以下この項において「療育手帳」という。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条の規定により交付された精神障害者保健福祉手帳（以下この項において「精神障害者保健福祉手帳」という。）及び道路交通法（昭和35年法律第105号）第92条の規定により交付された身体障害者等又は身体障害者等と生計を一にする者若しくは身体障害者等（身体障害者等のみで構成される世帯の者に限る。）を常時介護する者の運転免許証（以下この項において「運転免許証」という。）を提示するとともに、次の各号に掲げる事項を記載した申請書に減免を必要とする理由を証明する書類を添付して、提出しなければならない。

(1)～(6) 略

第90条 略

2 前項第1号の規定によつて種別割の減免を受けようとする者は、納期限前7日までに市長に対して、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により交付された身体障害者手帳（戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条の規定により戦傷病者手帳の交付を受けている者で身体障害者手帳の交付を受けていないものにあつては、戦傷病者手帳とする。以下この項において「身体障害者手帳」という。）、厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳（以下この項において「療育手帳」という。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条の規定により交付された精神障害者保健福祉手帳（以下この項において「精神障害者保健福祉手帳」という。）及び道路交通法（昭和35年法律第105号）第92条の規定により交付された身体障害者等又は身体障害者等と生計を一にする者若しくは身体障害者等（身体障害者等のみで構成される世帯の者に限る。）を常時介護する者の運転免許証（以下この項において「運転免許証」という。）を提示するとともに、次の各号に掲げる事項を記載した申請書に減免を必要とする理由を証明する書類を添付して、提出しなければならない。

(1)～(6) 略

<p>3 第1項第2号の規定によつて種別割の減免を受けようとする者は、納期限までに、市長に対して、当該軽自動車等の提示（市長が、当該軽自動車等の提示に代わると認める書類の提出がある場合には、当該書類の提出）をするとともに、前条第2項各号に掲げる事項を記載した申請書を提出しなければならない。</p>	<p>3 第1項第2号の規定によつて種別割の減免を受けようとする者は、納期限前7日までに、市長に対して、当該軽自動車等の提示（市長が、当該軽自動車等の提示に代わると認める書類の提出がある場合には、当該書類の提出）をするとともに、前条第2項各号に掲げる事項を記載した申請書を提出しなければならない。</p>
<p>4 略 (特別土地保有税の減免)</p>	<p>4 略 (特別土地保有税の減免)</p>
<p>第130条の10の3 略</p>	<p>第130条の10の3 略</p>
<p>2 前項の規定によつて特別土地保有税の減免を受けようとする者は、納期限までに、次に掲げる事項を記載した申請書にその減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して市長に提出しなければならない。</p>	<p>2 前項の規定によつて特別土地保有税の減免を受けようとする者は、納期限前7日までに、次に掲げる事項を記載した申請書にその減免を受けようとする事由を証明する書類を添付して市長に提出しなければならない。</p>
<p>(1)～(3) 略</p>	<p>(1)～(3) 略</p>
<p>3 略</p>	<p>3 略</p>

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和6年4月1日から施行する。ただし、第27条から第30条まで、第51条第2項、第72条第2項、第89条第2項、第90条第2項及び第3項並びに第130条の10の3第2項の改正規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日前に納期限の到来した市税に関し発した督促状に係る督促手数料については、その督促状を発した日にかかわらず、なお従前の例による。

議案第 87 号

督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例を次のように制定する。

令和 5 年 11 月 24 日提出

鈴鹿市長 末 松 則 子

督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例

(別 紙)

提案理由

市の歳入に係る督促手数料を廃止するため、関係条例の規定を整備するについて、
地方自治法第 96 条第 1 項の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例第 号

督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例

(鈴鹿市税外収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正)

第1条 鈴鹿市税外収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例（昭和39年鈴鹿市条例第24号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p style="text-align: center;"><u>鈴鹿市税外収入金に対する延滞金徴収条例</u></p> <p style="text-align: center;">(趣旨)</p> <p>第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第231条の3第1項及び第2項の規定による分担金，使用料，加入金，手数料，過料その他の市の歳入（以下「税外収入金」という。）に対する延滞金の徴収については，法令又は条例に特別の定めがあるものを除くほか，この条例の定めるところによる。</p> <p><u>第3条・第4条</u> 略</p> <p>(一部納付があつた場合の延滞金の額の計</p>	<p style="text-align: center;"><u>鈴鹿市税外収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例</u></p> <p style="text-align: center;">(趣旨)</p> <p>第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第231条の3第1項及び第2項の規定による分担金，使用料，加入金，手数料，過料その他の市の歳入（以下「税外収入金」という。）に対する<u>督促手数料及び延滞金</u>の徴収については，法令又は条例に特別の定めがあるものを除くほか，この条例の定めるところによる。</p> <p style="text-align: center;"><u>(督促手数料)</u></p> <p><u>第3条</u> 前条第1項の規定により督促状を發した場合は，<u>督促状1通について50円の督促手数料を徴収する。</u></p> <p><u>第4条・第5条</u> 略</p> <p>(一部納付があつた場合の延滞金の額の計</p>

算等)

第5条 第3条の規定により延滞金の額を計算する場合において、その計算の基礎となる税外収入金の一部が納付されているときは、その納付の日の翌日以後の期間に係る延滞金の額の計算の基礎となる税外収入金の額は、その納付された税外収入金を控除した金額とする。

2 第3条の規定により延滞金を納付すべき者が延滞金をその額の計算の基礎となる税外収入金に加算して納付した場合において、当該者が納付した金額がその延滞金の額の計算の基礎となる税外収入金の額に達するまでは、その納付した金額は、まずその計算の基礎となる税外収入金に充てられたものとする。

第6条 略

附 則

(延滞金の割合の特例)

2 当分の間、第3条第1項に規定する延滞金の年14.6パーセントの割合及び年7.3パーセントの割合は、同項の規定にかかわらず、各年の延滞金特例基準割合（平均貸付割合（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第93条第2項に規定する平均貸付割合をいう。）に年1パーセントの割合を加算した割合をいう。以下この項において同じ。）が年7.3パーセントの割合に満たない場合には、その年中においては、年14.6パーセントの割合にあつてはその年におけ

算等)

第6条 第4条の規定により延滞金の額を計算する場合において、その計算の基礎となる税外収入金の一部が納付されているときは、その納付の日の翌日以後の期間に係る延滞金の額の計算の基礎となる税外収入金の額は、その納付された税外収入金を控除した金額とする。

2 第4条の規定により延滞金を納付すべき者が延滞金をその額の計算の基礎となる税外収入金に加算して納付した場合において、当該者が納付した金額がその延滞金の額の計算の基礎となる税外収入金の額に達するまでは、その納付した金額は、まずその計算の基礎となる税外収入金に充てられたものとする。

第7条 略

附 則

(延滞金の割合の特例)

2 当分の間、第4条第1項に規定する延滞金の年14.6パーセントの割合及び年7.3パーセントの割合は、同項の規定にかかわらず、各年の延滞金特例基準割合（平均貸付割合（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第93条第2項に規定する平均貸付割合をいう。）に年1パーセントの割合を加算した割合をいう。以下この項において同じ。）が年7.3パーセントの割合に満たない場合には、その年中においては、年14.6パーセントの割合にあつてはその年におけ

<p>る延滞金特例基準割合に年7.3パーセントの割合を加算した割合とし、年7.3パーセントの割合にあつては当該延滞金特例基準割合に年1パーセントの割合を加算した割合（当該加算した割合が年7.3パーセントの割合を超える場合には、年7.3パーセントの割合）とする。</p>	<p>る延滞金特例基準割合に年7.3パーセントの割合を加算した割合とし、年7.3パーセントの割合にあつては当該延滞金特例基準割合に年1パーセントの割合を加算した割合（当該加算した割合が年7.3パーセントの割合を超える場合には、年7.3パーセントの割合）とする。</p>
--	--

（鈴鹿市市有財産条例の一部改正）

第2条 鈴鹿市市有財産条例（平成12年鈴鹿市条例第6号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>（督促及び延滞金）</p> <p>第11条 使用料を納付期限までに納付しない者がある場合は、<u>鈴鹿市税外収入金に対する延滞金徴収条例</u>（昭和39年鈴鹿市条例第24号）の規定に基づき、督促状の発付、延滞金の徴収等を行うことができるものとする。</p>	<p>（督促及び延滞金）</p> <p>第11条 使用料を納付期限までに納付しない者がある場合は、<u>鈴鹿市税外収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例</u>（昭和39年鈴鹿市条例第24号）の規定に基づき、督促状の発付、延滞金の徴収等を行うことができるものとする。</p>

（鈴鹿市後期高齢者医療に関する条例の一部改正）

第3条 鈴鹿市後期高齢者医療に関する条例（平成20年鈴鹿市条例第1号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
	<p><u>（保険料の督促手数料）</u></p> <p>第5条 <u>保険料の督促手数料は、督促状1通について50円とする。</u></p>

第5条～第9条 略

附 則

(延滞金の割合の特例)

第2条 当分の間、第5条第1項に規定する延滞金の年14.6パーセントの割合及び年7.3パーセントの割合は、同項の規定にかかわらず、各年の延滞金特例基準割合（平均貸付割合（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第93条第2項に規定する平均貸付割合をいう。）に年1パーセントの割合を加算した割合をいう。以下この条において同じ。）が年7.3パーセントの割合に満たない場合には、その年中においては、年14.6パーセントの割合にあつてはその年における延滞金特例基準割合に年7.3パーセントの割合を加算した割合とし、年7.3パーセントの割合にあつては当該延滞金特例基準割合に年1パーセントの割合を加算した割合（当該加算した割合が年7.3パーセントの割合を超える場合には、年7.3パーセントの割合）とする。

第6条～第10条 略

附 則

(延滞金の割合の特例)

第2条 当分の間、第6条第1項に規定する延滞金の年14.6パーセントの割合及び年7.3パーセントの割合は、同条の規定にかかわらず、各年の延滞金特例基準割合（平均貸付割合（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第93条第2項に規定する平均貸付割合をいう。）に年1パーセントの割合を加算した割合をいう。以下この条において同じ。）が年7.3パーセントの割合に満たない場合には、その年中においては、年14.6パーセントの割合にあつてはその年における延滞金特例基準割合に年7.3パーセントの割合を加算した割合とし、年7.3パーセントの割合にあつては当該延滞金特例基準割合に年1パーセントの割合を加算した割合（当該加算した割合が年7.3パーセントの割合を超える場合には、年7.3パーセントの割合）とする。

(鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正)

第4条 鈴鹿市国民健康保険条例（平成29年鈴鹿市条例第15号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
第39条 削除	<u>(保険料の督促状及び督促手数料)</u> 第39条 保険料の督促手数料は、督促状1通

<p>(過誤納金の還付等)</p> <p>第45条 市長は、誤納又は過納となった徴収金（保険料，延滞金及び滞納処分費をいう。以下この項において同じ。）があるときは、これを納付義務者に還付する。ただし、当該納付義務者について未納に係る徴収金があるときは、これを充当することができる。</p> <p>2・3 略</p>	<p><u>について、50円とする。ただし、やむを得ない理由があると認める場合においては、これを徴収しない。</u></p> <p>(過誤納金の還付等)</p> <p>第45条 市長は、誤納又は過納となった徴収金（保険料，<u>督促手数料</u>，延滞金及び滞納処分費をいう。以下この項において同じ。）があるときは、これを納付義務者に還付する。ただし、当該納付義務者について未納に係る徴収金があるときは、これを充当することができる。</p> <p>2・3 略</p>
---	---

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和6年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日前に納期限の到来した歳入（市税を除く。）に関し発した督促状に係る督促手数料については、その督促状を発した日にかかわらず、なお従前の例による。

鈴鹿市職員給与条例等の一部改正について

鈴鹿市職員給与条例等の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和 5 年 1 1 月 2 4 日提出

鈴鹿市長 末 松 則 子

鈴鹿市職員給与条例等の一部を改正する条例

(別 紙)

提案理由

職員の給与改定を行うについて、地方自治法第 96 条第 1 項の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例第 号

鈴鹿市職員給与条例等の一部を改正する条例

(鈴鹿市職員給与条例の一部改正)

第1条 鈴鹿市職員給与条例（昭和24年鈴鹿市条例第57号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(期末手当)</p> <p>第42条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の125</u>（行政職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が7級以上であるもの並びに同表以外の給料表の適用を受ける職員でその職務の複雑、困難及び責任の度等がこれに相当するもの（これらの職員のうち、規則で定める職員を除く。第42条の4第2項において「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の105</u>）を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第42条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の120</u>（行政職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が7級以上であるもの並びに同表以外の給料表の適用を受ける職員でその職務の複雑、困難及び責任の度等がこれに相当するもの（これらの職員のうち、規則で定める職員を除く。第42条の4第2項において「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の100</u>）を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前</p>

項の規定の適用については、同項中「100分の125」とあるのは「100分の70」と、「100分の105」とあるのは「100分の60」とする。

4～6 略

(勤勉手当)

第42条の4 略

2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任命権者が規則で定める基準に従つて定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。

(1) 前項の職員のうち次号に掲げる職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に100分の105（特定管理職員にあつては、100分の125）を乗じて得た額の総額

(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に100分の50（特定管理職員にあつては、100分の60）を乗じて得た額の総額

項の規定の適用については、同項中「100分の120」とあるのは「100分の67.5」と、「100分の100」とあるのは「100分の57.5」とする。

4～6 略

(勤勉手当)

第42条の4 略

2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任命権者が規則で定める基準に従つて定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。

(1) 前項の職員のうち次号に掲げる職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に100分の100（特定管理職員にあつては、100分の120）を乗じて得た額の総額

(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に100分の47.5（特定管理職員にあつては、100分の57.5）を乗じて得た額の総額

3 ~ 5 略

3 ~ 5 略

改正後

別表第1（第3条関係）

行政職給料表

職 員 の 区 分	職 務 の 級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
		給料月 額							
定 年 前 再 任 用 短 時 間 勤 務 職 員 以 外 の 職 員		円	円	円	円	円	円	円	円
	1	<u>162,100</u>	<u>208,000</u>	<u>240,900</u>	<u>271,600</u>	<u>295,400</u>	<u>323,100</u>	<u>365,500</u>	<u>410,300</u>
	2	<u>163,200</u>	<u>209,700</u>	<u>242,400</u>	<u>273,200</u>	<u>297,500</u>	<u>325,300</u>	<u>368,100</u>	<u>412,700</u>
	3	<u>164,400</u>	<u>211,400</u>	<u>243,800</u>	<u>274,700</u>	<u>299,500</u>	<u>327,500</u>	<u>370,500</u>	<u>415,200</u>
	4	<u>165,500</u>	<u>212,900</u>	<u>245,200</u>	<u>276,300</u>	<u>301,400</u>	<u>329,500</u>	<u>372,900</u>	<u>417,600</u>
	5	<u>166,600</u>	<u>214,400</u>	<u>246,400</u>	<u>277,800</u>	<u>303,200</u>	<u>331,500</u>	<u>374,800</u>	<u>419,500</u>
	6	<u>167,700</u>	<u>216,200</u>	<u>248,000</u>	<u>279,500</u>	<u>305,000</u>	<u>333,500</u>	<u>377,300</u>	<u>421,600</u>
	7	<u>168,800</u>	<u>217,900</u>	<u>249,500</u>	<u>281,300</u>	<u>306,600</u>	<u>335,400</u>	<u>379,600</u>	<u>423,700</u>
	8	<u>169,900</u>	<u>219,600</u>	<u>250,900</u>	<u>283,100</u>	<u>308,200</u>	<u>337,300</u>	<u>382,100</u>	<u>425,900</u>
	9	<u>170,900</u>	<u>221,100</u>	<u>252,000</u>	<u>284,800</u>	<u>309,800</u>	<u>339,200</u>	<u>384,500</u>	<u>427,800</u>
	10	<u>172,300</u>	<u>222,600</u>	<u>253,400</u>	<u>286,700</u>	<u>312,000</u>	<u>341,200</u>	<u>387,100</u>	<u>429,900</u>
	11	<u>173,600</u>	<u>224,100</u>	<u>254,900</u>	<u>288,500</u>	<u>314,200</u>	<u>343,200</u>	<u>389,700</u>	<u>432,000</u>
	12	<u>174,900</u>	<u>225,600</u>	<u>256,200</u>	<u>290,300</u>	<u>316,200</u>	<u>345,200</u>	<u>392,300</u>	<u>433,900</u>
	13	<u>176,100</u>	<u>226,800</u>	<u>257,500</u>	<u>292,100</u>	<u>318,200</u>	<u>347,000</u>	<u>394,600</u>	<u>435,600</u>
	14	<u>177,600</u>	<u>228,200</u>	<u>258,700</u>	<u>293,700</u>	<u>320,200</u>	<u>349,000</u>	<u>396,900</u>	<u>437,400</u>
	15	<u>179,100</u>	<u>229,600</u>	<u>259,900</u>	<u>295,100</u>	<u>322,100</u>	<u>350,900</u>	<u>399,100</u>	<u>439,300</u>
	16	<u>180,700</u>	<u>231,000</u>	<u>261,100</u>	<u>296,500</u>	<u>324,000</u>	<u>352,800</u>	<u>401,400</u>	<u>441,200</u>
	17	<u>181,800</u>	<u>232,400</u>	<u>262,300</u>	<u>298,000</u>	<u>325,900</u>	<u>354,500</u>	<u>403,200</u>	<u>443,000</u>
	18	<u>183,200</u>	<u>234,000</u>	<u>263,600</u>	<u>300,000</u>	<u>327,900</u>	<u>356,500</u>	<u>405,100</u>	<u>444,800</u>
19	<u>184,600</u>	<u>235,500</u>	<u>264,900</u>	<u>302,000</u>	<u>329,800</u>	<u>358,300</u>	<u>407,000</u>	<u>446,600</u>	

改正前

別表第1（第3条関係）

行政職給料表

職 員 の 区 分	職 務 の 級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
		給料月 額							
定 年 前 再 任 用 短 時 間 勤 務 職 員 以 外 の 職 員		円	円	円	円	円	円	円	円
	1	<u>150,100</u>	<u>198,500</u>	<u>234,400</u>	<u>266,000</u>	<u>290,700</u>	<u>319,200</u>	<u>362,900</u>	<u>408,100</u>
	2	<u>151,200</u>	<u>200,300</u>	<u>236,000</u>	<u>267,700</u>	<u>292,900</u>	<u>321,400</u>	<u>365,500</u>	<u>410,500</u>
	3	<u>152,400</u>	<u>202,100</u>	<u>237,500</u>	<u>269,200</u>	<u>295,000</u>	<u>323,700</u>	<u>367,900</u>	<u>413,000</u>
	4	<u>153,500</u>	<u>203,900</u>	<u>239,000</u>	<u>271,000</u>	<u>297,000</u>	<u>325,900</u>	<u>370,500</u>	<u>415,400</u>
	5	<u>154,600</u>	<u>205,400</u>	<u>240,300</u>	<u>272,700</u>	<u>298,800</u>	<u>328,100</u>	<u>372,400</u>	<u>417,300</u>
	6	<u>155,700</u>	<u>207,200</u>	<u>241,900</u>	<u>274,500</u>	<u>300,800</u>	<u>330,100</u>	<u>374,900</u>	<u>419,600</u>
	7	<u>156,800</u>	<u>209,000</u>	<u>243,400</u>	<u>276,300</u>	<u>302,600</u>	<u>332,300</u>	<u>377,200</u>	<u>421,700</u>
	8	<u>157,900</u>	<u>210,800</u>	<u>244,900</u>	<u>278,300</u>	<u>304,200</u>	<u>334,500</u>	<u>379,700</u>	<u>423,900</u>
	9	<u>158,900</u>	<u>212,400</u>	<u>246,000</u>	<u>280,200</u>	<u>306,100</u>	<u>336,400</u>	<u>382,100</u>	<u>425,900</u>
	10	<u>160,300</u>	<u>214,200</u>	<u>247,500</u>	<u>282,200</u>	<u>308,400</u>	<u>338,600</u>	<u>384,800</u>	<u>428,000</u>
	11	<u>161,600</u>	<u>216,000</u>	<u>249,000</u>	<u>284,100</u>	<u>310,600</u>	<u>340,600</u>	<u>387,400</u>	<u>430,100</u>
	12	<u>162,900</u>	<u>217,800</u>	<u>250,300</u>	<u>286,000</u>	<u>312,900</u>	<u>342,800</u>	<u>390,100</u>	<u>432,200</u>
	13	<u>164,100</u>	<u>219,200</u>	<u>251,800</u>	<u>287,900</u>	<u>315,000</u>	<u>344,600</u>	<u>392,500</u>	<u>433,900</u>
	14	<u>165,600</u>	<u>221,000</u>	<u>253,000</u>	<u>289,700</u>	<u>317,100</u>	<u>346,600</u>	<u>394,800</u>	<u>435,700</u>
	15	<u>167,100</u>	<u>222,700</u>	<u>254,300</u>	<u>291,200</u>	<u>319,300</u>	<u>348,600</u>	<u>397,000</u>	<u>437,700</u>
	16	<u>168,700</u>	<u>224,500</u>	<u>255,500</u>	<u>292,600</u>	<u>321,400</u>	<u>350,600</u>	<u>399,400</u>	<u>439,700</u>
	17	<u>169,800</u>	<u>226,100</u>	<u>256,800</u>	<u>294,400</u>	<u>323,300</u>	<u>352,300</u>	<u>401,200</u>	<u>441,600</u>
	18	<u>171,200</u>	<u>227,800</u>	<u>258,200</u>	<u>296,400</u>	<u>325,300</u>	<u>354,300</u>	<u>403,200</u>	<u>443,400</u>
19	<u>172,600</u>	<u>229,400</u>	<u>259,600</u>	<u>298,500</u>	<u>327,300</u>	<u>356,100</u>	<u>405,100</u>	<u>445,200</u>	

20	<u>186,000</u>	<u>236,900</u>	<u>266,200</u>	<u>303,800</u>	<u>331,700</u>	<u>360,200</u>	<u>408,800</u>	<u>448,300</u>
21	<u>187,300</u>	<u>238,100</u>	<u>267,600</u>	<u>305,500</u>	<u>333,400</u>	<u>362,100</u>	<u>410,600</u>	<u>450,100</u>
22	<u>189,600</u>	<u>239,700</u>	<u>269,100</u>	<u>307,400</u>	<u>335,400</u>	<u>364,000</u>	<u>412,400</u>	<u>451,600</u>
23	<u>191,800</u>	<u>241,200</u>	<u>270,700</u>	<u>309,300</u>	<u>337,400</u>	<u>365,900</u>	<u>414,200</u>	<u>453,000</u>
24	<u>194,000</u>	<u>242,600</u>	<u>272,200</u>	<u>311,100</u>	<u>339,300</u>	<u>367,800</u>	<u>416,000</u>	<u>454,500</u>
25	<u>196,200</u>	<u>243,600</u>	<u>273,800</u>	<u>312,800</u>	<u>340,700</u>	<u>369,700</u>	<u>417,600</u>	<u>455,900</u>
26	<u>197,900</u>	<u>245,100</u>	<u>275,500</u>	<u>314,800</u>	<u>342,600</u>	<u>371,600</u>	<u>419,100</u>	<u>457,200</u>
27	<u>199,400</u>	<u>246,400</u>	<u>277,100</u>	<u>316,800</u>	<u>344,500</u>	<u>373,500</u>	<u>420,600</u>	<u>458,500</u>
28	<u>200,900</u>	<u>247,600</u>	<u>278,700</u>	<u>318,700</u>	<u>346,400</u>	<u>375,400</u>	<u>422,100</u>	<u>459,700</u>
29	<u>202,400</u>	<u>248,700</u>	<u>280,300</u>	<u>320,400</u>	<u>348,000</u>	<u>376,900</u>	<u>423,600</u>	<u>460,700</u>
30	<u>203,800</u>	<u>249,700</u>	<u>281,800</u>	<u>322,400</u>	<u>349,900</u>	<u>378,700</u>	<u>424,900</u>	<u>461,400</u>
31	<u>205,200</u>	<u>250,600</u>	<u>283,300</u>	<u>324,400</u>	<u>351,700</u>	<u>380,500</u>	<u>426,200</u>	<u>462,200</u>
32	<u>206,600</u>	<u>251,500</u>	<u>284,800</u>	<u>326,400</u>	<u>353,500</u>	<u>382,100</u>	<u>427,400</u>	<u>462,900</u>
33	<u>208,000</u>	<u>252,400</u>	<u>285,900</u>	<u>327,600</u>	<u>355,300</u>	<u>383,800</u>	<u>428,600</u>	<u>463,600</u>
34	<u>209,300</u>	<u>253,300</u>	<u>287,500</u>	<u>329,600</u>	<u>357,100</u>	<u>385,200</u>	<u>429,900</u>	<u>464,400</u>
35	<u>210,600</u>	<u>254,100</u>	<u>289,000</u>	<u>331,500</u>	<u>358,800</u>	<u>386,600</u>	<u>431,200</u>	<u>465,100</u>
36	<u>211,900</u>	<u>254,900</u>	<u>290,500</u>	<u>333,500</u>	<u>360,500</u>	<u>388,000</u>	<u>432,400</u>	<u>465,700</u>
37	<u>213,200</u>	<u>255,600</u>	<u>291,900</u>	<u>335,400</u>	<u>361,900</u>	<u>389,400</u>	<u>433,600</u>	<u>466,200</u>
38	<u>214,400</u>	<u>256,700</u>	<u>293,500</u>	<u>337,300</u>	<u>363,200</u>	<u>390,600</u>	<u>434,400</u>	<u>466,800</u>
39	<u>215,600</u>	<u>257,900</u>	<u>295,100</u>	<u>339,200</u>	<u>364,500</u>	<u>391,800</u>	<u>435,200</u>	<u>467,400</u>
40	<u>216,700</u>	<u>259,000</u>	<u>296,700</u>	<u>341,100</u>	<u>365,900</u>	<u>392,800</u>	<u>436,000</u>	<u>468,000</u>
41	<u>217,800</u>	<u>260,200</u>	<u>298,200</u>	<u>342,900</u>	<u>367,000</u>	<u>393,900</u>	<u>436,600</u>	<u>468,500</u>
42	<u>218,900</u>	<u>261,400</u>	<u>299,800</u>	<u>344,800</u>	<u>367,900</u>	<u>395,100</u>	<u>437,300</u>	<u>469,000</u>
43	<u>219,900</u>	<u>262,500</u>	<u>301,300</u>	<u>346,600</u>	<u>368,900</u>	<u>396,200</u>	<u>438,000</u>	<u>469,400</u>
44	<u>220,900</u>	<u>263,600</u>	<u>302,800</u>	<u>348,400</u>	<u>370,000</u>	<u>397,300</u>	<u>438,700</u>	<u>469,700</u>
45	<u>221,800</u>	<u>264,700</u>	<u>304,400</u>	<u>349,900</u>	<u>370,800</u>	<u>398,000</u>	<u>439,500</u>	<u>470,000</u>
46	<u>222,700</u>	<u>265,800</u>	<u>306,000</u>	<u>351,300</u>	<u>371,700</u>	<u>398,700</u>	<u>440,300</u>	
47	<u>223,600</u>	<u>266,900</u>	<u>307,600</u>	<u>352,700</u>	<u>372,600</u>	<u>399,400</u>	<u>440,700</u>	
48	<u>224,500</u>	<u>267,900</u>	<u>309,100</u>	<u>354,200</u>	<u>373,400</u>	<u>400,100</u>	<u>441,400</u>	

20	<u>174,000</u>	<u>230,900</u>	<u>261,100</u>	<u>300,500</u>	<u>329,300</u>	<u>358,000</u>	<u>406,900</u>	<u>446,900</u>
21	<u>175,300</u>	<u>232,200</u>	<u>262,700</u>	<u>302,400</u>	<u>331,000</u>	<u>359,900</u>	<u>408,800</u>	<u>448,700</u>
22	<u>177,800</u>	<u>233,800</u>	<u>264,400</u>	<u>304,500</u>	<u>333,100</u>	<u>361,800</u>	<u>410,600</u>	<u>450,200</u>
23	<u>180,300</u>	<u>235,400</u>	<u>266,000</u>	<u>306,500</u>	<u>335,100</u>	<u>363,800</u>	<u>412,400</u>	<u>451,600</u>
24	<u>182,800</u>	<u>236,900</u>	<u>267,600</u>	<u>308,600</u>	<u>337,200</u>	<u>365,700</u>	<u>414,300</u>	<u>453,100</u>
25	<u>185,200</u>	<u>237,900</u>	<u>269,400</u>	<u>310,300</u>	<u>338,600</u>	<u>367,700</u>	<u>416,100</u>	<u>454,500</u>
26	<u>186,900</u>	<u>239,400</u>	<u>271,200</u>	<u>312,400</u>	<u>340,500</u>	<u>369,600</u>	<u>417,600</u>	<u>455,800</u>
27	<u>188,500</u>	<u>240,700</u>	<u>272,900</u>	<u>314,400</u>	<u>342,400</u>	<u>371,600</u>	<u>419,100</u>	<u>457,100</u>
28	<u>190,200</u>	<u>241,900</u>	<u>274,600</u>	<u>316,400</u>	<u>344,300</u>	<u>373,600</u>	<u>420,700</u>	<u>458,300</u>
29	<u>191,700</u>	<u>243,100</u>	<u>276,200</u>	<u>318,100</u>	<u>345,900</u>	<u>375,100</u>	<u>422,300</u>	<u>459,300</u>
30	<u>193,400</u>	<u>244,100</u>	<u>277,900</u>	<u>320,100</u>	<u>347,800</u>	<u>376,900</u>	<u>423,600</u>	<u>460,000</u>
31	<u>195,200</u>	<u>245,100</u>	<u>279,700</u>	<u>322,200</u>	<u>349,700</u>	<u>378,700</u>	<u>424,900</u>	<u>460,800</u>
32	<u>196,900</u>	<u>246,100</u>	<u>281,200</u>	<u>324,300</u>	<u>351,500</u>	<u>380,300</u>	<u>426,100</u>	<u>461,500</u>
33	<u>198,500</u>	<u>247,200</u>	<u>282,400</u>	<u>325,500</u>	<u>353,400</u>	<u>382,100</u>	<u>427,300</u>	<u>462,200</u>
34	<u>199,900</u>	<u>248,100</u>	<u>284,100</u>	<u>327,500</u>	<u>355,200</u>	<u>383,500</u>	<u>428,600</u>	<u>463,000</u>
35	<u>201,400</u>	<u>249,000</u>	<u>285,700</u>	<u>329,400</u>	<u>357,000</u>	<u>385,000</u>	<u>429,900</u>	<u>463,700</u>
36	<u>202,900</u>	<u>250,000</u>	<u>287,400</u>	<u>331,500</u>	<u>358,700</u>	<u>386,600</u>	<u>431,100</u>	<u>464,300</u>
37	<u>204,200</u>	<u>250,900</u>	<u>289,000</u>	<u>333,400</u>	<u>360,100</u>	<u>388,000</u>	<u>432,300</u>	<u>464,800</u>
38	<u>205,500</u>	<u>252,200</u>	<u>290,700</u>	<u>335,300</u>	<u>361,400</u>	<u>389,200</u>	<u>433,100</u>	<u>465,400</u>
39	<u>206,700</u>	<u>253,400</u>	<u>292,500</u>	<u>337,300</u>	<u>362,800</u>	<u>390,400</u>	<u>433,900</u>	<u>466,000</u>
40	<u>208,000</u>	<u>254,700</u>	<u>294,300</u>	<u>339,200</u>	<u>364,200</u>	<u>391,500</u>	<u>434,700</u>	<u>466,600</u>
41	<u>209,300</u>	<u>256,000</u>	<u>295,800</u>	<u>341,100</u>	<u>365,500</u>	<u>392,600</u>	<u>435,300</u>	<u>467,100</u>
42	<u>210,600</u>	<u>257,400</u>	<u>297,500</u>	<u>343,000</u>	<u>366,400</u>	<u>393,800</u>	<u>436,000</u>	<u>467,600</u>
43	<u>211,900</u>	<u>258,600</u>	<u>299,000</u>	<u>344,800</u>	<u>367,500</u>	<u>395,000</u>	<u>436,700</u>	<u>468,000</u>
44	<u>213,200</u>	<u>259,800</u>	<u>300,600</u>	<u>346,700</u>	<u>368,600</u>	<u>396,100</u>	<u>437,400</u>	<u>468,300</u>
45	<u>214,300</u>	<u>260,900</u>	<u>302,200</u>	<u>348,200</u>	<u>369,400</u>	<u>396,800</u>	<u>438,200</u>	<u>468,600</u>
46	<u>215,600</u>	<u>262,100</u>	<u>303,900</u>	<u>349,600</u>	<u>370,300</u>	<u>397,500</u>	<u>439,000</u>	
47	<u>216,900</u>	<u>263,400</u>	<u>305,500</u>	<u>351,100</u>	<u>371,200</u>	<u>398,200</u>	<u>439,400</u>	
48	<u>218,200</u>	<u>264,500</u>	<u>307,200</u>	<u>352,600</u>	<u>372,100</u>	<u>398,900</u>	<u>440,100</u>	

49	<u>225,400</u>	<u>268,900</u>	<u>310,000</u>	<u>355,700</u>	<u>374,200</u>	<u>400,700</u>	<u>441,900</u>	
50	<u>226,300</u>	<u>269,900</u>	<u>311,500</u>	<u>356,500</u>	<u>375,000</u>	<u>401,300</u>	<u>442,300</u>	
51	<u>227,200</u>	<u>270,900</u>	<u>313,000</u>	<u>357,500</u>	<u>375,800</u>	<u>401,800</u>	<u>442,700</u>	
52	<u>228,100</u>	<u>271,800</u>	<u>314,600</u>	<u>358,500</u>	<u>376,500</u>	<u>402,200</u>	<u>443,100</u>	
53	<u>228,900</u>	<u>272,700</u>	<u>316,200</u>	<u>359,400</u>	<u>377,200</u>	<u>402,600</u>	<u>443,500</u>	
54	<u>229,800</u>	<u>273,600</u>	<u>317,800</u>	<u>360,500</u>	<u>377,900</u>	<u>402,900</u>	<u>443,900</u>	
55	<u>230,700</u>	<u>274,500</u>	<u>319,300</u>	<u>361,400</u>	<u>378,600</u>	<u>403,200</u>	<u>444,300</u>	
56	<u>231,500</u>	<u>275,400</u>	<u>320,800</u>	<u>362,400</u>	<u>379,300</u>	<u>403,500</u>	<u>444,600</u>	
57	<u>231,800</u>	<u>276,300</u>	<u>322,200</u>	<u>363,300</u>	<u>379,800</u>	<u>403,800</u>	<u>444,900</u>	
58	<u>232,600</u>	<u>277,200</u>	<u>323,400</u>	<u>364,000</u>	<u>380,400</u>	<u>404,100</u>	<u>445,300</u>	
59	<u>233,300</u>	<u>278,100</u>	<u>324,500</u>	<u>364,700</u>	<u>381,000</u>	<u>404,400</u>	<u>445,600</u>	
60	<u>233,900</u>	<u>279,000</u>	<u>325,600</u>	<u>365,300</u>	<u>381,700</u>	<u>404,700</u>	<u>445,900</u>	
61	<u>234,500</u>	<u>280,000</u>	<u>326,300</u>	<u>365,700</u>	<u>382,100</u>	<u>405,000</u>	<u>446,200</u>	
62	<u>235,200</u>	<u>281,000</u>	<u>327,200</u>	<u>366,300</u>	<u>382,800</u>	<u>405,300</u>		
63	<u>235,800</u>	<u>281,900</u>	<u>328,000</u>	<u>367,000</u>	<u>383,400</u>	<u>405,600</u>		
64	<u>236,300</u>	<u>282,800</u>	<u>328,800</u>	<u>367,700</u>	<u>384,000</u>	<u>405,900</u>		
65	<u>236,800</u>	<u>283,300</u>	<u>329,600</u>	<u>368,000</u>	<u>384,400</u>	<u>406,200</u>		
66	<u>237,300</u>	<u>284,000</u>	<u>330,000</u>	<u>368,700</u>	<u>385,000</u>	<u>406,500</u>		
67	<u>237,800</u>	<u>284,700</u>	<u>330,600</u>	<u>369,400</u>	<u>385,600</u>	<u>406,800</u>		
68	<u>238,400</u>	<u>285,600</u>	<u>331,300</u>	<u>370,000</u>	<u>386,200</u>	<u>407,100</u>		
69	<u>238,900</u>	<u>286,600</u>	<u>332,100</u>	<u>370,300</u>	<u>386,600</u>	<u>407,300</u>		
70	<u>239,400</u>	<u>287,400</u>	<u>332,800</u>	<u>370,900</u>	<u>387,100</u>	<u>407,600</u>		
71	<u>239,900</u>	<u>288,200</u>	<u>333,500</u>	<u>371,600</u>	<u>387,600</u>	<u>407,900</u>		
72	<u>240,400</u>	<u>289,000</u>	<u>334,100</u>	<u>372,200</u>	<u>388,200</u>	<u>408,100</u>		
73	<u>240,900</u>	<u>289,700</u>	<u>334,600</u>	<u>372,500</u>	<u>388,500</u>	<u>408,300</u>		
74	<u>241,400</u>	<u>290,200</u>	<u>335,200</u>	<u>373,100</u>	<u>388,900</u>	<u>408,600</u>		
75	<u>241,800</u>	<u>290,600</u>	<u>335,700</u>	<u>373,800</u>	<u>389,300</u>	<u>408,900</u>		
76	<u>242,300</u>	<u>291,000</u>	<u>336,300</u>	<u>374,400</u>	<u>389,700</u>	<u>409,100</u>		
77	<u>242,800</u>	<u>291,200</u>	<u>336,600</u>	<u>374,800</u>	<u>390,000</u>	<u>409,300</u>		

49	<u>219,200</u>	<u>265,600</u>	<u>308,100</u>	<u>354,200</u>	<u>373,000</u>	<u>399,500</u>	<u>440,600</u>	
50	<u>220,300</u>	<u>266,600</u>	<u>309,600</u>	<u>355,000</u>	<u>373,800</u>	<u>400,100</u>	<u>441,000</u>	
51	<u>221,300</u>	<u>267,800</u>	<u>311,100</u>	<u>356,200</u>	<u>374,600</u>	<u>400,600</u>	<u>441,400</u>	
52	<u>222,300</u>	<u>268,900</u>	<u>312,700</u>	<u>357,200</u>	<u>375,400</u>	<u>401,000</u>	<u>441,800</u>	
53	<u>223,300</u>	<u>269,900</u>	<u>314,300</u>	<u>358,100</u>	<u>376,100</u>	<u>401,400</u>	<u>442,200</u>	
54	<u>224,200</u>	<u>270,900</u>	<u>315,900</u>	<u>359,200</u>	<u>376,800</u>	<u>401,700</u>	<u>442,600</u>	
55	<u>225,100</u>	<u>272,000</u>	<u>317,500</u>	<u>360,100</u>	<u>377,500</u>	<u>402,000</u>	<u>443,000</u>	
56	<u>226,000</u>	<u>273,100</u>	<u>319,000</u>	<u>361,200</u>	<u>378,200</u>	<u>402,300</u>	<u>443,300</u>	
57	<u>226,300</u>	<u>274,000</u>	<u>320,500</u>	<u>362,100</u>	<u>378,700</u>	<u>402,600</u>	<u>443,600</u>	
58	<u>227,100</u>	<u>275,000</u>	<u>321,700</u>	<u>362,800</u>	<u>379,300</u>	<u>402,900</u>	<u>444,000</u>	
59	<u>227,800</u>	<u>275,900</u>	<u>322,900</u>	<u>363,500</u>	<u>379,900</u>	<u>403,200</u>	<u>444,300</u>	
60	<u>228,500</u>	<u>277,000</u>	<u>324,100</u>	<u>364,200</u>	<u>380,600</u>	<u>403,500</u>	<u>444,600</u>	
61	<u>229,200</u>	<u>278,100</u>	<u>324,800</u>	<u>364,600</u>	<u>381,000</u>	<u>403,800</u>	<u>444,900</u>	
62	<u>230,000</u>	<u>279,100</u>	<u>325,700</u>	<u>365,200</u>	<u>381,700</u>	<u>404,100</u>		
63	<u>230,700</u>	<u>280,000</u>	<u>326,500</u>	<u>365,900</u>	<u>382,300</u>	<u>404,400</u>		
64	<u>231,300</u>	<u>281,000</u>	<u>327,300</u>	<u>366,600</u>	<u>382,900</u>	<u>404,700</u>		
65	<u>231,900</u>	<u>281,500</u>	<u>328,200</u>	<u>366,900</u>	<u>383,300</u>	<u>405,000</u>		
66	<u>232,500</u>	<u>282,400</u>	<u>328,600</u>	<u>367,600</u>	<u>383,900</u>	<u>405,300</u>		
67	<u>233,100</u>	<u>283,100</u>	<u>329,300</u>	<u>368,300</u>	<u>384,500</u>	<u>405,600</u>		
68	<u>233,800</u>	<u>284,000</u>	<u>330,100</u>	<u>369,000</u>	<u>385,100</u>	<u>405,900</u>		
69	<u>234,500</u>	<u>285,000</u>	<u>330,900</u>	<u>369,300</u>	<u>385,500</u>	<u>406,100</u>		
70	<u>235,100</u>	<u>285,800</u>	<u>331,600</u>	<u>369,900</u>	<u>386,000</u>	<u>406,400</u>		
71	<u>235,600</u>	<u>286,600</u>	<u>332,300</u>	<u>370,600</u>	<u>386,500</u>	<u>406,700</u>		
72	<u>236,300</u>	<u>287,400</u>	<u>333,000</u>	<u>371,200</u>	<u>387,100</u>	<u>407,000</u>		
73	<u>237,000</u>	<u>288,200</u>	<u>333,500</u>	<u>371,500</u>	<u>387,400</u>	<u>407,200</u>		
74	<u>237,600</u>	<u>288,700</u>	<u>334,100</u>	<u>372,100</u>	<u>387,800</u>	<u>407,500</u>		
75	<u>238,200</u>	<u>289,100</u>	<u>334,600</u>	<u>372,800</u>	<u>388,200</u>	<u>407,800</u>		
76	<u>238,700</u>	<u>289,600</u>	<u>335,200</u>	<u>373,400</u>	<u>388,600</u>	<u>408,000</u>		
77	<u>239,300</u>	<u>289,800</u>	<u>335,500</u>	<u>373,800</u>	<u>388,900</u>	<u>408,200</u>		

78	<u>243,300</u>	<u>291,500</u>	<u>337,100</u>	<u>375,300</u>	<u>390,300</u>	<u>409,600</u>		
79	<u>243,800</u>	<u>291,700</u>	<u>337,500</u>	<u>375,900</u>	<u>390,600</u>	<u>409,900</u>		
80	<u>244,300</u>	<u>292,000</u>	<u>337,900</u>	<u>376,400</u>	<u>390,800</u>	<u>410,100</u>		
81	<u>244,700</u>	<u>292,200</u>	<u>338,300</u>	<u>376,900</u>	<u>391,000</u>	<u>410,300</u>		
82	<u>245,200</u>	<u>292,400</u>	<u>338,800</u>	<u>377,500</u>	<u>391,300</u>	<u>410,600</u>		
83	<u>245,600</u>	<u>292,700</u>	<u>339,300</u>	<u>378,000</u>	<u>391,600</u>	<u>410,900</u>		
84	<u>246,000</u>	<u>292,900</u>	<u>339,800</u>	<u>378,300</u>	<u>391,800</u>	<u>411,100</u>		
85	<u>246,400</u>	<u>293,200</u>	<u>340,100</u>	<u>378,700</u>	<u>392,000</u>	<u>411,300</u>		
86	<u>246,800</u>	<u>293,500</u>	<u>340,500</u>	<u>379,200</u>	<u>392,300</u>			
87	<u>247,200</u>	<u>293,800</u>	<u>341,000</u>	<u>379,600</u>	<u>392,600</u>			
88	<u>247,600</u>	<u>294,100</u>	<u>341,400</u>	<u>380,000</u>	<u>392,800</u>			
89	<u>248,000</u>	<u>294,400</u>	<u>341,700</u>	<u>380,400</u>	<u>393,000</u>			
90	<u>248,500</u>	<u>294,800</u>	<u>342,100</u>	<u>380,900</u>	<u>393,300</u>			
91	<u>248,800</u>	<u>295,100</u>	<u>342,600</u>	<u>381,300</u>	<u>393,600</u>			
92	<u>249,100</u>	<u>295,500</u>	<u>343,000</u>	<u>381,700</u>	<u>393,800</u>			
93	<u>249,400</u>	<u>295,700</u>	<u>343,200</u>	<u>382,000</u>	<u>394,000</u>			
94		<u>295,900</u>	<u>343,600</u>					
95		<u>296,200</u>	<u>344,100</u>					
96		<u>296,600</u>	<u>344,500</u>					
97		<u>296,800</u>	<u>344,700</u>					
98		<u>297,100</u>	<u>345,100</u>					
99		<u>297,500</u>	<u>345,500</u>					
100		<u>297,900</u>	<u>345,800</u>					
101		<u>298,100</u>	<u>346,100</u>					
102		<u>298,400</u>	<u>346,500</u>					
103		<u>298,800</u>	<u>346,900</u>					
104		<u>299,100</u>	<u>347,300</u>					
105		<u>299,300</u>	<u>347,800</u>					
106		<u>299,600</u>	<u>348,200</u>					

78	<u>240,000</u>	<u>290,100</u>	<u>336,000</u>	<u>374,300</u>	<u>389,200</u>	<u>408,500</u>		
79	<u>240,700</u>	<u>290,300</u>	<u>336,400</u>	<u>374,900</u>	<u>389,500</u>	<u>408,800</u>		
80	<u>241,200</u>	<u>290,700</u>	<u>336,900</u>	<u>375,400</u>	<u>389,800</u>	<u>409,000</u>		
81	<u>241,700</u>	<u>290,900</u>	<u>337,300</u>	<u>375,900</u>	<u>390,000</u>	<u>409,200</u>		
82	<u>242,300</u>	<u>291,100</u>	<u>337,800</u>	<u>376,500</u>	<u>390,300</u>	<u>409,500</u>		
83	<u>242,900</u>	<u>291,500</u>	<u>338,300</u>	<u>377,000</u>	<u>390,600</u>	<u>409,800</u>		
84	<u>243,400</u>	<u>291,800</u>	<u>338,800</u>	<u>377,300</u>	<u>390,800</u>	<u>410,000</u>		
85	<u>243,900</u>	<u>292,100</u>	<u>339,100</u>	<u>377,700</u>	<u>391,000</u>	<u>410,200</u>		
86	<u>244,500</u>	<u>292,400</u>	<u>339,500</u>	<u>378,200</u>	<u>391,300</u>			
87	<u>245,100</u>	<u>292,700</u>	<u>340,000</u>	<u>378,600</u>	<u>391,600</u>			
88	<u>245,600</u>	<u>293,100</u>	<u>340,400</u>	<u>379,000</u>	<u>391,800</u>			
89	<u>246,100</u>	<u>293,400</u>	<u>340,700</u>	<u>379,400</u>	<u>392,000</u>			
90	<u>246,600</u>	<u>293,800</u>	<u>341,100</u>	<u>379,900</u>	<u>392,300</u>			
91	<u>246,900</u>	<u>294,100</u>	<u>341,600</u>	<u>380,300</u>	<u>392,600</u>			
92	<u>247,300</u>	<u>294,500</u>	<u>342,000</u>	<u>380,700</u>	<u>392,800</u>			
93	<u>247,600</u>	<u>294,700</u>	<u>342,200</u>	<u>381,000</u>	<u>393,000</u>			
94		<u>294,900</u>	<u>342,600</u>					
95		<u>295,200</u>	<u>343,100</u>					
96		<u>295,600</u>	<u>343,500</u>					
97		<u>295,800</u>	<u>343,700</u>					
98		<u>296,100</u>	<u>344,100</u>					
99		<u>296,500</u>	<u>344,500</u>					
100		<u>296,900</u>	<u>344,800</u>					
101		<u>297,100</u>	<u>345,100</u>					
102		<u>297,400</u>	<u>345,500</u>					
103		<u>297,800</u>	<u>345,900</u>					
104		<u>298,100</u>	<u>346,300</u>					
105		<u>298,300</u>	<u>346,800</u>					
106		<u>298,600</u>	<u>347,200</u>					

	107		<u>300,000</u>	<u>348,600</u>					
	108		<u>300,300</u>	<u>349,000</u>					
	109		<u>300,500</u>	<u>349,500</u>					
	110		<u>300,900</u>	<u>349,900</u>					
	111		<u>301,300</u>	<u>350,200</u>					
	112		<u>301,600</u>	<u>350,500</u>					
	113		<u>301,800</u>	<u>351,000</u>					
	114		<u>302,000</u>						
	115		<u>302,300</u>						
	116		<u>302,700</u>						
	117		<u>302,900</u>						
	118		<u>303,100</u>						
	119		<u>303,400</u>						
	120		<u>303,700</u>						
	121		<u>304,100</u>						
	122		<u>304,300</u>						
	123		<u>304,600</u>						
	124		<u>304,900</u>						
	125		<u>305,200</u>						
定 年 前 再 任 用 短 時 間 勤		基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額

	107		<u>299,000</u>	<u>347,600</u>					
	108		<u>299,300</u>	<u>348,000</u>					
	109		<u>299,500</u>	<u>348,500</u>					
	110		<u>299,900</u>	<u>348,900</u>					
	111		<u>300,300</u>	<u>349,200</u>					
	112		<u>300,600</u>	<u>349,500</u>					
	113		<u>300,800</u>	<u>350,000</u>					
	114		<u>301,000</u>						
	115		<u>301,300</u>						
	116		<u>301,700</u>						
	117		<u>301,900</u>						
	118		<u>302,100</u>						
	119		<u>302,400</u>						
	120		<u>302,700</u>						
	121		<u>303,100</u>						
	122		<u>303,300</u>						
	123		<u>303,600</u>						
	124		<u>303,900</u>						
	125		<u>304,200</u>						
定 年 前 再 任 用 短 時 間 勤		基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額	基準給 料月額

務 職 員		<u>188,700</u>	<u>216,200</u>	<u>256,200</u>	<u>275,600</u>	<u>290,700</u>	<u>316,200</u>	<u>358,000</u>	<u>391,200</u>
-------------	--	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

備考 略

別表第2（第3条関係）

教育職給料表

職員の区分	職務の級	1級	特1級	2級	3級
	号給	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
定年前再任用 短時間勤務職 員以外の職員		円	円	円	円
	1	<u>196,300</u>	<u>277,800</u>	<u>306,100</u>	<u>411,400</u>
	2	<u>198,400</u>	<u>280,100</u>	<u>308,700</u>	<u>412,900</u>
	3	<u>200,500</u>	<u>282,400</u>	<u>311,500</u>	<u>414,400</u>
	4	<u>202,700</u>	<u>284,500</u>	<u>313,900</u>	<u>415,800</u>
	5	<u>204,800</u>	<u>286,700</u>	<u>316,200</u>	<u>417,100</u>
	6	<u>206,900</u>	<u>288,900</u>	<u>318,300</u>	<u>418,500</u>
	7	<u>209,000</u>	<u>291,100</u>	<u>320,400</u>	<u>419,900</u>
	8	<u>211,100</u>	<u>293,200</u>	<u>322,500</u>	<u>421,300</u>
	9	<u>213,300</u>	<u>295,300</u>	<u>324,500</u>	<u>422,700</u>
	10	<u>215,700</u>	<u>297,600</u>	<u>326,700</u>	<u>424,100</u>
	11	<u>218,000</u>	<u>299,900</u>	<u>329,000</u>	<u>425,500</u>
	12	<u>220,200</u>	<u>302,000</u>	<u>331,300</u>	<u>426,800</u>
	13	<u>222,600</u>	<u>304,200</u>	<u>333,500</u>	<u>428,100</u>
	14	<u>224,300</u>	<u>306,000</u>	<u>335,300</u>	<u>429,500</u>
	15	<u>225,800</u>	<u>307,800</u>	<u>337,100</u>	<u>430,900</u>
	16	<u>227,300</u>	<u>309,500</u>	<u>338,800</u>	<u>432,300</u>
	17	<u>229,000</u>	<u>311,100</u>	<u>340,500</u>	<u>433,500</u>
	18	<u>230,300</u>	<u>313,300</u>	<u>342,500</u>	<u>434,800</u>
	19	<u>231,500</u>	<u>315,400</u>	<u>344,500</u>	<u>436,000</u>
	20	<u>232,800</u>	<u>317,700</u>	<u>346,500</u>	<u>437,300</u>

務 職 員		<u>187,700</u>	<u>215,200</u>	<u>255,200</u>	<u>274,600</u>	<u>289,700</u>	<u>315,100</u>	<u>356,800</u>	<u>389,900</u>
-------------	--	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

備考 略

別表第2（第3条関係）

教育職給料表

職員の区分	職務の級	1級	特1級	2級	3級
	号給	給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
定年前再任用 短時間勤務職 員以外の職員		円	円	円	円
	1	<u>182,800</u>	<u>270,100</u>	<u>298,600</u>	<u>409,300</u>
	2	<u>184,900</u>	<u>272,500</u>	<u>301,200</u>	<u>410,800</u>
	3	<u>187,000</u>	<u>274,800</u>	<u>304,000</u>	<u>412,300</u>
	4	<u>189,200</u>	<u>277,000</u>	<u>306,400</u>	<u>413,800</u>
	5	<u>191,200</u>	<u>279,400</u>	<u>308,900</u>	<u>415,200</u>
	6	<u>193,200</u>	<u>281,700</u>	<u>311,000</u>	<u>416,600</u>
	7	<u>195,300</u>	<u>283,900</u>	<u>313,300</u>	<u>418,100</u>
	8	<u>197,400</u>	<u>286,000</u>	<u>315,400</u>	<u>419,700</u>
	9	<u>199,600</u>	<u>288,100</u>	<u>317,500</u>	<u>421,100</u>
	10	<u>202,200</u>	<u>290,400</u>	<u>319,800</u>	<u>422,500</u>
	11	<u>204,800</u>	<u>292,700</u>	<u>322,200</u>	<u>423,900</u>
	12	<u>207,400</u>	<u>294,800</u>	<u>324,700</u>	<u>425,200</u>
	13	<u>210,000</u>	<u>297,200</u>	<u>327,100</u>	<u>426,500</u>
	14	<u>211,700</u>	<u>299,000</u>	<u>329,000</u>	<u>427,900</u>
	15	<u>213,300</u>	<u>300,900</u>	<u>330,900</u>	<u>429,300</u>
	16	<u>215,000</u>	<u>302,600</u>	<u>333,000</u>	<u>430,700</u>
	17	<u>216,800</u>	<u>304,400</u>	<u>334,800</u>	<u>431,900</u>
	18	<u>218,400</u>	<u>306,700</u>	<u>337,000</u>	<u>433,200</u>
	19	<u>220,100</u>	<u>308,900</u>	<u>339,100</u>	<u>434,400</u>
	20	<u>221,700</u>	<u>311,300</u>	<u>341,100</u>	<u>435,700</u>

21	<u>234,500</u>	<u>319,700</u>	<u>348,500</u>	<u>438,400</u>
22	<u>236,200</u>	<u>321,900</u>	<u>350,100</u>	<u>439,600</u>
23	<u>237,900</u>	<u>324,100</u>	<u>351,700</u>	<u>440,900</u>
24	<u>239,500</u>	<u>326,400</u>	<u>353,200</u>	<u>442,200</u>
25	<u>241,000</u>	<u>328,600</u>	<u>354,700</u>	<u>443,500</u>
26	<u>243,000</u>	<u>330,800</u>	<u>356,500</u>	<u>444,700</u>
27	<u>244,900</u>	<u>332,900</u>	<u>358,200</u>	<u>445,700</u>
28	<u>246,800</u>	<u>334,900</u>	<u>359,900</u>	<u>446,800</u>
29	<u>248,500</u>	<u>336,900</u>	<u>361,500</u>	<u>448,000</u>
30	<u>250,900</u>	<u>338,300</u>	<u>363,100</u>	<u>448,800</u>
31	<u>253,300</u>	<u>339,700</u>	<u>364,700</u>	<u>449,600</u>
32	<u>255,700</u>	<u>341,300</u>	<u>366,200</u>	<u>450,500</u>
33	<u>258,100</u>	<u>342,800</u>	<u>367,500</u>	<u>451,400</u>
34	<u>260,500</u>	<u>344,800</u>	<u>369,000</u>	<u>451,900</u>
35	<u>262,800</u>	<u>346,900</u>	<u>370,500</u>	<u>452,400</u>
36	<u>265,000</u>	<u>348,700</u>	<u>372,200</u>	<u>452,900</u>
37	<u>267,200</u>	<u>350,500</u>	<u>373,900</u>	<u>453,400</u>
38	<u>269,400</u>	<u>352,200</u>	<u>375,400</u>	
39	<u>271,800</u>	<u>353,900</u>	<u>376,700</u>	
40	<u>273,900</u>	<u>355,500</u>	<u>378,100</u>	
41	<u>276,200</u>	<u>357,000</u>	<u>379,200</u>	
42	<u>278,500</u>	<u>358,700</u>	<u>380,600</u>	
43	<u>280,700</u>	<u>360,300</u>	<u>382,000</u>	
44	<u>282,800</u>	<u>361,900</u>	<u>383,500</u>	
45	<u>284,900</u>	<u>363,600</u>	<u>384,900</u>	
46	<u>287,100</u>	<u>365,300</u>	<u>386,500</u>	
47	<u>289,200</u>	<u>366,600</u>	<u>388,000</u>	
48	<u>291,100</u>	<u>368,000</u>	<u>389,500</u>	
49	<u>293,200</u>	<u>369,200</u>	<u>390,800</u>	

21	<u>223,500</u>	<u>313,500</u>	<u>343,200</u>	<u>436,800</u>
22	<u>225,400</u>	<u>315,900</u>	<u>345,000</u>	<u>438,000</u>
23	<u>227,300</u>	<u>318,100</u>	<u>346,800</u>	<u>439,300</u>
24	<u>229,200</u>	<u>320,700</u>	<u>348,400</u>	<u>440,600</u>
25	<u>230,700</u>	<u>323,100</u>	<u>350,100</u>	<u>441,900</u>
26	<u>232,700</u>	<u>325,400</u>	<u>351,900</u>	<u>443,100</u>
27	<u>234,700</u>	<u>327,600</u>	<u>353,800</u>	<u>444,100</u>
28	<u>236,700</u>	<u>329,700</u>	<u>355,700</u>	<u>445,200</u>
29	<u>238,500</u>	<u>331,800</u>	<u>357,500</u>	<u>446,400</u>
30	<u>241,200</u>	<u>333,400</u>	<u>359,300</u>	<u>447,200</u>
31	<u>243,900</u>	<u>335,000</u>	<u>361,000</u>	<u>448,000</u>
32	<u>246,600</u>	<u>336,600</u>	<u>362,900</u>	<u>448,900</u>
33	<u>249,200</u>	<u>338,400</u>	<u>364,200</u>	<u>449,800</u>
34	<u>252,000</u>	<u>340,500</u>	<u>365,900</u>	<u>450,300</u>
35	<u>254,600</u>	<u>342,600</u>	<u>367,400</u>	<u>450,800</u>
36	<u>257,300</u>	<u>344,600</u>	<u>369,200</u>	<u>451,300</u>
37	<u>259,600</u>	<u>346,600</u>	<u>371,100</u>	<u>451,800</u>
38	<u>262,000</u>	<u>348,500</u>	<u>372,600</u>	
39	<u>264,500</u>	<u>350,500</u>	<u>373,900</u>	
40	<u>266,700</u>	<u>352,400</u>	<u>375,500</u>	
41	<u>269,200</u>	<u>353,900</u>	<u>376,600</u>	
42	<u>271,500</u>	<u>355,700</u>	<u>378,000</u>	
43	<u>273,700</u>	<u>357,300</u>	<u>379,400</u>	
44	<u>275,800</u>	<u>359,000</u>	<u>380,900</u>	
45	<u>277,900</u>	<u>360,800</u>	<u>382,300</u>	
46	<u>280,100</u>	<u>362,500</u>	<u>383,900</u>	
47	<u>282,200</u>	<u>363,800</u>	<u>385,500</u>	
48	<u>284,100</u>	<u>365,400</u>	<u>387,000</u>	
49	<u>286,400</u>	<u>366,600</u>	<u>388,400</u>	

50	<u>294,900</u>	<u>370,700</u>	<u>392,300</u>
51	<u>296,700</u>	<u>372,300</u>	<u>393,700</u>
52	<u>298,400</u>	<u>373,800</u>	<u>395,000</u>
53	<u>299,700</u>	<u>375,200</u>	<u>396,200</u>
54	<u>301,700</u>	<u>376,700</u>	<u>397,500</u>
55	<u>303,600</u>	<u>378,200</u>	<u>398,600</u>
56	<u>305,600</u>	<u>379,600</u>	<u>399,700</u>
57	<u>307,600</u>	<u>381,000</u>	<u>400,900</u>
58	<u>309,700</u>	<u>382,400</u>	<u>402,100</u>
59	<u>311,900</u>	<u>383,700</u>	<u>403,300</u>
60	<u>314,100</u>	<u>385,000</u>	<u>404,500</u>
61	<u>316,200</u>	<u>385,900</u>	<u>405,600</u>
62	<u>318,500</u>	<u>387,100</u>	<u>406,600</u>
63	<u>320,700</u>	<u>388,200</u>	<u>407,900</u>
64	<u>322,800</u>	<u>389,300</u>	<u>409,100</u>
65	<u>324,900</u>	<u>390,100</u>	<u>410,300</u>
66	<u>326,400</u>	<u>391,200</u>	<u>411,400</u>
67	<u>327,900</u>	<u>392,200</u>	<u>412,500</u>
68	<u>329,400</u>	<u>393,200</u>	<u>413,600</u>
69	<u>331,100</u>	<u>394,300</u>	<u>414,600</u>
70	<u>333,100</u>	<u>395,300</u>	<u>415,800</u>
71	<u>335,100</u>	<u>396,400</u>	<u>417,000</u>
72	<u>337,000</u>	<u>397,500</u>	<u>418,200</u>
73	<u>338,800</u>	<u>398,500</u>	<u>418,800</u>
74	<u>340,800</u>	<u>399,600</u>	<u>419,600</u>
75	<u>342,700</u>	<u>400,700</u>	<u>420,300</u>
76	<u>344,600</u>	<u>401,700</u>	<u>420,800</u>
77	<u>346,300</u>	<u>402,600</u>	<u>421,100</u>
78	<u>348,100</u>	<u>403,500</u>	<u>421,500</u>

50	<u>288,100</u>	<u>368,100</u>	<u>389,900</u>
51	<u>290,000</u>	<u>369,700</u>	<u>391,400</u>
52	<u>291,800</u>	<u>371,300</u>	<u>392,800</u>
53	<u>293,200</u>	<u>372,700</u>	<u>394,000</u>
54	<u>295,300</u>	<u>374,200</u>	<u>395,300</u>
55	<u>297,300</u>	<u>375,700</u>	<u>396,400</u>
56	<u>299,500</u>	<u>377,200</u>	<u>397,500</u>
57	<u>301,500</u>	<u>378,700</u>	<u>398,900</u>
58	<u>303,900</u>	<u>380,100</u>	<u>400,100</u>
59	<u>306,100</u>	<u>381,500</u>	<u>401,300</u>
60	<u>308,700</u>	<u>382,800</u>	<u>402,600</u>
61	<u>310,900</u>	<u>383,700</u>	<u>403,800</u>
62	<u>313,300</u>	<u>384,900</u>	<u>404,800</u>
63	<u>315,600</u>	<u>386,100</u>	<u>406,200</u>
64	<u>317,800</u>	<u>387,200</u>	<u>407,500</u>
65	<u>319,900</u>	<u>388,100</u>	<u>408,700</u>
66	<u>321,700</u>	<u>389,300</u>	<u>409,800</u>
67	<u>323,300</u>	<u>390,300</u>	<u>411,000</u>
68	<u>324,900</u>	<u>391,400</u>	<u>412,100</u>
69	<u>326,800</u>	<u>392,600</u>	<u>413,100</u>
70	<u>328,900</u>	<u>393,600</u>	<u>414,300</u>
71	<u>331,000</u>	<u>394,700</u>	<u>415,500</u>
72	<u>333,000</u>	<u>395,900</u>	<u>416,700</u>
73	<u>335,100</u>	<u>396,900</u>	<u>417,300</u>
74	<u>337,200</u>	<u>398,000</u>	<u>418,100</u>
75	<u>339,400</u>	<u>399,100</u>	<u>418,800</u>
76	<u>341,600</u>	<u>400,200</u>	<u>419,300</u>
77	<u>343,300</u>	<u>401,100</u>	<u>419,600</u>
78	<u>345,200</u>	<u>402,000</u>	<u>420,000</u>

79	<u>349,800</u>	<u>404,500</u>	<u>421,900</u>
80	<u>351,500</u>	<u>405,500</u>	<u>422,300</u>
81	<u>353,300</u>	<u>406,300</u>	<u>422,600</u>
82	<u>355,000</u>	<u>407,100</u>	<u>423,000</u>
83	<u>356,400</u>	<u>407,800</u>	<u>423,400</u>
84	<u>358,000</u>	<u>408,600</u>	<u>423,700</u>
85	<u>359,200</u>	<u>409,300</u>	<u>424,000</u>
86	<u>360,800</u>	<u>410,100</u>	<u>424,400</u>
87	<u>362,300</u>	<u>410,800</u>	<u>424,800</u>
88	<u>363,800</u>	<u>411,500</u>	<u>425,100</u>
89	<u>365,100</u>	<u>412,100</u>	<u>425,400</u>
90	<u>366,400</u>	<u>412,800</u>	<u>425,700</u>
91	<u>367,700</u>	<u>413,300</u>	<u>426,000</u>
92	<u>369,100</u>	<u>414,000</u>	<u>426,200</u>
93	<u>370,500</u>	<u>414,400</u>	<u>426,400</u>
94	<u>371,800</u>	<u>414,800</u>	
95	<u>373,000</u>	<u>415,100</u>	
96	<u>374,100</u>	<u>415,400</u>	
97	<u>375,100</u>	<u>415,600</u>	
98	<u>376,100</u>	<u>415,900</u>	
99	<u>377,100</u>	<u>416,200</u>	
100	<u>378,000</u>	<u>416,400</u>	
101	<u>378,800</u>	<u>416,600</u>	
102	<u>379,800</u>	<u>416,900</u>	
103	<u>380,700</u>	<u>417,200</u>	
104	<u>381,600</u>	<u>417,400</u>	
105	<u>382,400</u>	<u>417,600</u>	
106	<u>383,300</u>	<u>417,900</u>	
107	<u>384,200</u>	<u>418,200</u>	

79	<u>346,900</u>	<u>403,000</u>	<u>420,400</u>
80	<u>348,700</u>	<u>404,000</u>	<u>420,800</u>
81	<u>350,500</u>	<u>404,800</u>	<u>421,100</u>
82	<u>352,300</u>	<u>405,600</u>	<u>421,500</u>
83	<u>353,700</u>	<u>406,300</u>	<u>421,900</u>
84	<u>355,500</u>	<u>407,100</u>	<u>422,200</u>
85	<u>356,700</u>	<u>407,800</u>	<u>422,500</u>
86	<u>358,300</u>	<u>408,600</u>	<u>422,900</u>
87	<u>359,800</u>	<u>409,300</u>	<u>423,300</u>
88	<u>361,300</u>	<u>410,000</u>	<u>423,600</u>
89	<u>362,600</u>	<u>410,600</u>	<u>423,900</u>
90	<u>363,900</u>	<u>411,300</u>	<u>424,200</u>
91	<u>365,300</u>	<u>411,800</u>	<u>424,500</u>
92	<u>366,700</u>	<u>412,500</u>	<u>424,700</u>
93	<u>368,200</u>	<u>412,900</u>	<u>424,900</u>
94	<u>369,500</u>	<u>413,300</u>	
95	<u>370,800</u>	<u>413,600</u>	
96	<u>372,000</u>	<u>413,900</u>	
97	<u>373,000</u>	<u>414,200</u>	
98	<u>374,000</u>	<u>414,500</u>	
99	<u>375,000</u>	<u>414,800</u>	
100	<u>376,000</u>	<u>415,000</u>	
101	<u>376,900</u>	<u>415,200</u>	
102	<u>377,900</u>	<u>415,500</u>	
103	<u>378,900</u>	<u>415,800</u>	
104	<u>379,900</u>	<u>416,000</u>	
105	<u>380,700</u>	<u>416,200</u>	
106	<u>381,600</u>	<u>416,500</u>	
107	<u>382,500</u>	<u>416,800</u>	

108	<u>385,100</u>	<u>418,400</u>		
109	<u>385,900</u>	<u>418,600</u>		
110	<u>386,900</u>	<u>418,900</u>		
111	<u>387,800</u>	<u>419,200</u>		
112	<u>388,700</u>	<u>419,400</u>		
113	<u>389,300</u>	<u>419,600</u>		
114	<u>390,200</u>	<u>419,900</u>		
115	<u>391,100</u>	<u>420,200</u>		
116	<u>392,000</u>	<u>420,400</u>		
117	<u>392,800</u>	<u>420,600</u>		
118	<u>393,500</u>			
119	<u>394,300</u>			
120	<u>395,100</u>			
121	<u>395,700</u>			
122	<u>396,500</u>			
123	<u>397,200</u>			
124	<u>397,900</u>			
125	<u>398,500</u>			
126	<u>399,200</u>			
127	<u>399,700</u>			
128	<u>400,300</u>			
129	<u>401,000</u>			
130	<u>401,600</u>			
131	<u>402,100</u>			
132	<u>402,600</u>			
133	<u>402,900</u>			
134	<u>403,200</u>			
135	<u>403,500</u>			
136	<u>403,800</u>			

108	<u>383,500</u>	<u>417,000</u>		
109	<u>384,300</u>	<u>417,200</u>		
110	<u>385,300</u>	<u>417,500</u>		
111	<u>386,300</u>	<u>417,800</u>		
112	<u>387,300</u>	<u>418,000</u>		
113	<u>387,900</u>	<u>418,200</u>		
114	<u>388,800</u>	<u>418,500</u>		
115	<u>389,700</u>	<u>418,800</u>		
116	<u>390,600</u>	<u>419,000</u>		
117	<u>391,400</u>	<u>419,200</u>		
118	<u>392,100</u>			
119	<u>392,900</u>			
120	<u>393,700</u>			
121	<u>394,300</u>			
122	<u>395,100</u>			
123	<u>395,800</u>			
124	<u>396,500</u>			
125	<u>397,100</u>			
126	<u>397,800</u>			
127	<u>398,300</u>			
128	<u>398,900</u>			
129	<u>399,600</u>			
130	<u>400,200</u>			
131	<u>400,700</u>			
132	<u>401,200</u>			
133	<u>401,500</u>			
134	<u>401,800</u>			
135	<u>402,100</u>			
136	<u>402,400</u>			

	137	<u>404,100</u>			
	138	<u>404,400</u>			
	139	<u>404,700</u>			
	140	<u>405,000</u>			
	141	<u>405,300</u>			
	142	<u>405,600</u>			
	143	<u>405,900</u>			
	144	<u>406,200</u>			
	145	<u>406,400</u>			
	146	<u>406,700</u>			
	147	<u>407,000</u>			
	148	<u>407,200</u>			
	149	<u>407,400</u>			
定年前再任用		基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額
短時間勤務職 員		<u>275,000</u>	<u>302,000</u>	<u>328,400</u>	<u>409,500</u>
備考					
略					

	137	<u>402,700</u>			
	138	<u>403,000</u>			
	139	<u>403,300</u>			
	140	<u>403,600</u>			
	141	<u>403,900</u>			
	142	<u>404,200</u>			
	143	<u>404,500</u>			
	144	<u>404,800</u>			
	145	<u>405,000</u>			
	146	<u>405,300</u>			
	147	<u>405,600</u>			
	148	<u>405,800</u>			
	149	<u>406,000</u>			
定年前再任用		基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額	基準給料月額
短時間勤務職 員		<u>273,700</u>	<u>300,700</u>	<u>327,000</u>	<u>407,800</u>
備考					
略					

第2条 鈴鹿市職員給与条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(期末手当)</p> <p>第42条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の122.5</u>（行政職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が7級以上であるもの並びに同表以外の給料表の適用を受ける職員でその職務の複雑、困難及び責任の度等がこれに相当するもの（これらの職員のうち、規則で定める職員を除く。第42条の4第2項において「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の102.5</u>）を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の122.5</u>」とあるのは「<u>100分の68.75</u>」と、「<u>100分の102.5</u>」とあるのは「<u>100分の58.75</u>」とする。</p> <p>4～6 略</p> <p>(勤勉手当)</p> <p>第42条の4 略</p> <p>2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第42条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に<u>100分の125</u>（行政職給料表の適用を受ける職員でその職務の級が7級以上であるもの並びに同表以外の給料表の適用を受ける職員でその職務の複雑、困難及び責任の度等がこれに相当するもの（これらの職員のうち、規則で定める職員を除く。第42条の4第2項において「特定管理職員」という。）にあつては、<u>100分の105</u>）を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の70</u>」と、「<u>100分の105</u>」とあるのは「<u>100分の60</u>」とする。</p> <p>4～6 略</p> <p>(勤勉手当)</p> <p>第42条の4 略</p> <p>2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任</p>

<p>命権者が規則で定める基準に従って定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。</p> <p>(1) 前項の職員のうち次号に掲げる職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に<u>100分の102.5</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の122.5</u>）を乗じて得た額の総額</p> <p>(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に<u>100分の48.75</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の58.75</u>）を乗じて得た額の総額</p> <p>3～5 略</p>	<p>命権者が規則で定める基準に従って定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に定める額を超えてはならない。</p> <p>(1) 前項の職員のうち次号に掲げる職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額及びこれに対する地域手当の月額の合計額を加算した額に<u>100分の105</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の125</u>）を乗じて得た額の総額</p> <p>(2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に<u>100分の50</u>（特定管理職員にあつては、<u>100分の60</u>）を乗じて得た額の総額</p> <p>3～5 略</p>
--	--

（一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正）

第3条 一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成16年鈴鹿市条例第29号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
(特定任期付職員についての給与の特例)	(特定任期付職員についての給与の特例)

第4条 第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「特定任期付職員」という。）には、次の給料表を適用する。

号給	給料月額
	円
1	<u>380,000</u>
2	<u>427,000</u>
3	<u>477,000</u>
4	<u>539,000</u>

2～5 略

（特定任期付職員についての給与に関する条例の適用除外等）

第5条 略

2 特定任期付職員に対する給与条例第40条の2第1項及び第42条第2項の規定の適用については、給与条例第40条の2第1項中「管理職員が」とあるのは「一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成16年鈴鹿市条例第29号）第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員が」と、給与条例第42条第2項中「100分の125」とあるのは「100分の175」とする。

3 略

第4条 第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員（以下「特定任期付職員」という。）には、次の給料表を適用する。

号給	給料月額
	円
1	<u>376,000</u>
2	<u>422,000</u>
3	<u>472,000</u>
4	<u>533,000</u>

2～5 略

（特定任期付職員についての給与に関する条例の適用除外等）

第5条 略

2 特定任期付職員に対する給与条例第40条の2第1項及び第42条第2項の規定の適用については、給与条例第40条の2第1項中「管理職員が」とあるのは「一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成16年鈴鹿市条例第29号）第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員が」と、給与条例第42条第2項中「100分の120」とあるのは「100分の165」とする。

3 略

第4条 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
（特定任期付職員についての給与に関する	（特定任期付職員についての給与に関する

<p>条例の適用除外等)</p> <p>第5条 略</p> <p>2 特定任期付職員に対する給与条例第40条の2第1項及び第42条第2項の規定の適用については、給与条例第40条の2第1項中「管理職員が」とあるのは「一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成16年鈴鹿市条例第29号）第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員が」と、給与条例第42条第2項中「<u>100分の122.5</u>」とあるのは「<u>100分の170</u>」とする。</p> <p>3 略</p>	<p>条例の適用除外等)</p> <p>第5条 略</p> <p>2 特定任期付職員に対する給与条例第40条の2第1項及び第42条第2項の規定の適用については、給与条例第40条の2第1項中「管理職員が」とあるのは「一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成16年鈴鹿市条例第29号）第2条第1項の規定により任期を定めて採用された職員が」と、給与条例第42条第2項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の175</u>」とする。</p> <p>3 略</p>
---	---

（鈴鹿市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正）

第5条 鈴鹿市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例（令和元年鈴鹿市条例第23号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>（フルタイム会計年度任用職員の期末手当）</p> <p>第15条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のフルタイム会計年度任用職員の期末手当について準用する。この場合において、第42条第2項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の125</u>以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と読み替えるものとするほか、必要な技術的読替えは、規則で定める。</p> <p>2・3 略</p>	<p>（フルタイム会計年度任用職員の期末手当）</p> <p>第15条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のフルタイム会計年度任用職員の期末手当について準用する。この場合において、第42条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは「<u>100分の120</u>以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と読み替えるものとするほか、必要な技術的読替えは、規則で定める。</p> <p>2・3 略</p>

<p>(パートタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第25条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のパートタイム会計年度任用職員(1週間当たりの勤務時間が著しく少ない者として任命権者が規則等で定めるものを除く。以下この条において同じ。)について準用する。この場合において、給与条例第42条第2項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の70以下</u>の割合で任命権者が規則等で定める割合」と、同条第4項中「それぞれその基準日現在(退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在)において職員が受けるべき給料及び扶養手当の月額並びにこれらに対する地域手当の月額の合計額」とあるのは、「それぞれその基準日(退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日)以前6か月以内のパートタイム会計年度任用職員としての在職期間における報酬(フルタイム会計年度任用職員との権衡を考慮して任命権者が規則等で定める額を除く。)の1月当たりの平均額」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p>	<p>(パートタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第25条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のパートタイム会計年度任用職員(1週間当たりの勤務時間が著しく少ない者として任命権者が規則等で定めるものを除く。以下この条において同じ。)について準用する。この場合において、給与条例第42条第2項中「<u>100分の120</u>」とあるのは「<u>100分の67.5以下</u>の割合で任命権者が規則等で定める割合」と、同条第4項中「それぞれその基準日現在(退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在)において職員が受けるべき給料及び扶養手当の月額並びにこれらに対する地域手当の月額の合計額」とあるのは、「それぞれその基準日(退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日)以前6か月以内のパートタイム会計年度任用職員としての在職期間における報酬(フルタイム会計年度任用職員との権衡を考慮して任命権者が規則等で定める額を除く。)の1月当たりの平均額」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p>
---	---

第6条 鈴鹿市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(フルタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第15条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のフルタイム会計年度任用職員の期末手当について準用する。この場合において、第42条第2項中「<u>100分の122.5</u>」とあるのは「<u>100分の122.5</u>以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と読み替えるものとするほか、必要な技術的読替えは、規則で定める。</p>	<p>(フルタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第15条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のフルタイム会計年度任用職員の期末手当について準用する。この場合において、第42条第2項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の125</u>以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と読み替えるものとするほか、必要な技術的読替えは、規則で定める。</p>
<p>2・3 略</p>	<p>2・3 略</p>
<p>(パートタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第25条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のパートタイム会計年度任用職員（1週間当たりの勤務時間が著しく少ない者として任命権者が規則等で定めるものを除く。以下この条において同じ。）について準用する。この場合において、給与条例第42条第2項中「<u>100分の122.5</u>」とあるのは「<u>100分の68.75</u>以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と、同条第4項中「それぞれその基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において職員が受けるべき給料及び扶養手当の月額並びにこれらに対する地域手当の月額</p>	<p>(パートタイム会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第25条 給与条例第42条から第42条の3までの規定は、任期の定めが6月以上のパートタイム会計年度任用職員（1週間当たりの勤務時間が著しく少ない者として任命権者が規則等で定めるものを除く。以下この条において同じ。）について準用する。この場合において、給与条例第42条第2項中「<u>100分の125</u>」とあるのは「<u>100分の70</u>以下の割合で任命権者が規則等で定める割合」と、同条第4項中「それぞれその基準日現在（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において職員が受けるべき給料及び扶養手当の月額並びにこれらに対する地域手当の月額</p>

<p>の合計額」とあるのは、「それぞれその基準日（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日）以前6か月以内のパートタイム会計年度任用職員としての在職期間における報酬（フルタイム会計年度任用職員との権衡を考慮して任命権者が規則等で定める額を除く。）の1月当たりの平均額」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p>	<p>合計額」とあるのは、「それぞれその基準日（退職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、又は死亡した日）以前6か月以内のパートタイム会計年度任用職員としての在職期間における報酬（フルタイム会計年度任用職員との権衡を考慮して任命権者が規則等で定める額を除く。）の1月当たりの平均額」と読み替えるものとする。</p> <p>2・3 略</p>
--	---

附 則

（施行期日等）

第1条 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条、第4条及び第6条の規定は、令和6年4月1日から施行する。

2 第1条の規定（鈴鹿市職員給与条例（以下この条及び次条において「給与条例」という。）第42条第2項及び第3項並びに第42条の4第2項の改正規定を除く。）による改正後の給与条例の規定及び第3条の規定（一般職の任期付職員の採用等に関する条例（以下この条及び次条において「任期付職員条例」という。）第5条第2項の改正規定を除く。）による改正後の任期付職員条例の規定は、令和5年4月1日から適用する。

3 第1条の規定（給与条例第42条第2項及び第3項並びに第42条の4第2項の改正規定に限る。）による改正後の給与条例、第3条の規定（任期付職員条例第5条第2項の改正規定に限る。）による改正後の任期付職員条例及び第5条の規定による改正後の鈴鹿市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の規定は、令和5年12月1日から適用する。

（給与の内払）

第2条 第1条の規定による改正後の給与条例（以下この条において「改正後の給与条例」という。）又は第3条の規定による改正後の任期付職員条例（以下この条において「改正後の任期付職員条例」という。）の規定を適用する場合には、第1条の規定による改正前の給与条例又は第3条の規定による改正前の任期付職員条例の

規定に基づいて支給された給与は、それぞれ改正後の給与条例又は改正後の任期付職員条例の規定による給与の内払とみなす。

(規則への委任)

第3条 前条に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

鈴鹿市適応指導教室設置条例の一部改正について

鈴鹿市適応指導教室設置条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

鈴鹿市適応指導教室設置条例の一部を改正する条例

(別 紙)

提案理由

鈴鹿市適応指導教室の名称を改める等について、地方自治法第96条第1項の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例第 号

鈴鹿市適応指導教室設置条例の一部を改正する条例

鈴鹿市適応指導教室設置条例（平成25年鈴鹿市条例第32号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p data-bbox="268 898 715 929"><u>鈴鹿市教育支援センター設置条例</u></p> <p data-bbox="228 958 309 990">（設置）</p> <p data-bbox="180 1023 785 1500">第1条 不登校の児童及び生徒（以下「不登校児童生徒」という。）に対し<u>学校生活への復帰及び社会的自立に向けた支援を行う</u>ため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、<u>鈴鹿市教育支援センター</u>（以下「<u>教育支援センター</u>」という。）を設置する。</p> <p data-bbox="228 1532 427 1563">（名称及び位置）</p> <p data-bbox="180 1597 785 1693">第2条 <u>教育支援センター</u>の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <div data-bbox="196 1695 769 1760" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">略</div> <p data-bbox="228 1792 309 1823">（事業）</p> <p data-bbox="180 1856 785 1953">第3条 <u>教育支援センター</u>は、次の事業を行う。</p> <p data-bbox="212 1984 357 2016">（1） 略</p>	<p data-bbox="900 898 1286 929"><u>鈴鹿市適応指導教室設置条例</u></p> <p data-bbox="860 958 941 990">（設置）</p> <p data-bbox="812 1023 1417 1500">第1条 不登校の児童及び生徒（以下「不登校児童生徒」という。）に対し、<u>学校生活への適応のための指導、助言等を行い、学校生活への復帰を支援する</u>ため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、<u>鈴鹿市適応指導教室</u>（以下「<u>適応指導教室</u>」という。）を設置する。</p> <p data-bbox="860 1532 1059 1563">（名称及び位置）</p> <p data-bbox="812 1597 1417 1693">第2条 <u>適応指導教室</u>の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <div data-bbox="828 1695 1401 1760" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">略</div> <p data-bbox="860 1792 941 1823">（事業）</p> <p data-bbox="812 1856 1385 1888">第3条 <u>適応指導教室</u>は、次の事業を行う。</p> <p data-bbox="844 1984 989 2016">（1） 略</p>

<p>(2) 不登校児童生徒の学校生活への復帰に向けた<u>支援</u>に関すること。</p> <p>(3) <u>不登校児童生徒の社会的自立</u>に向けた支援に関すること。</p> <p>(4) <u>前3号</u>に掲げるもののほか、鈴鹿市教育委員会が必要があると認める事業(職員)</p> <p>第4条 <u>教育支援センター</u>に、<u>センター長</u>その他必要な職員を置く。</p>	<p>(2) 不登校児童生徒の学校生活への復帰を促す<u>活動</u>に関すること。</p> <p>(3) <u>前2号</u>に掲げるもののほか、鈴鹿市教育委員会が必要があると認める事業(職員)</p> <p>第4条 <u>適応指導教室</u>に、<u>室長</u>その他必要な職員を置く。</p>
---	--

附 則

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

鈴鹿市国民健康保険条例の一部改正について

鈴鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

鈴鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例

(別 紙)

提案理由

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産被保険者に係る国民健康保険料の減額の基準を新設する等について、地方自治法第96条第1項の規定により、この議案を提出する。

鈴鹿市条例第 号

鈴鹿市国民健康保険条例の一部を改正する条例

鈴鹿市国民健康保険条例（平成29年鈴鹿市条例第15号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改 正 後	改 正 前
<p>(一般被保険者に係る基礎賦課総額)</p> <p>第9条 保険料の賦課額のうち一般被保険者（法附則第7条第1項に規定する退職被保険者等（以下「退職被保険者等」という。）以外の被保険者をいう。以下同じ。）に係る基礎賦課額（<u>第35条、第36条の2及び第36条の3</u>の規定により基礎賦課額を減額するものとした場合にあつては、その減額することとなる額を含む。）の総額（以下「基礎賦課総額」という。）は、第1号に掲げる額の見込額から第2号に掲げる額の見込額を控除した額を基準として算定した額とする。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 当該年度における次に掲げる額の合算額</p> <p>ア～ウ 略</p> <p>エ その他国民健康保険事業に要する費</p>	<p>(一般被保険者に係る基礎賦課総額)</p> <p>第9条 保険料の賦課額のうち一般被保険者（法附則第7条第1項に規定する退職被保険者等（以下「退職被保険者等」という。）以外の被保険者をいう。以下同じ。）に係る基礎賦課額（<u>第35条及び第36条の2</u>の規定により基礎賦課額を減額するものとした場合にあつては、その減額することとなる額を含む。）の総額（以下「基礎賦課総額」という。）は、第1号に掲げる額の見込額から第2号に掲げる額の見込額を控除した額を基準として算定した額とする。</p> <p>(1) 略</p> <p>(2) 当該年度における次に掲げる額の合算額</p> <p>ア～ウ 略</p> <p>エ その他国民健康保険事業に要する費</p>

用（国民健康保険の事務の執行に要する費用を除く。）のための収入（法附則第9条第1項の規定により読み替えられた法第72条の3第1項、第72条の3の2第1項及び第72条の3の3第1項の規定による繰入金及び国民健康保険給付費等交付金（退職被保険者等の療養の給付等に要する費用に係るものに限る。）を除く。）の額

（一般被保険者に係る基礎賦課額の所得割額の算定）

第11条 前条の所得割額は、一般被保険者に係る賦課期日の属する年の前年の所得に係る地方税法（昭和25年法律第226号）第314条の2第1項に規定する総所得金額及び山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額（同法附則第33条の2第5項に規定する上場株式等に係る配当所得等の金額（同法附則第35条の2の6第8項又は第11項の規定の適用がある場合には、その適用後の金額）、同法附則第33条の3第5項に規定する土地等に係る事業所得等の金額、同法附則第34条第4項に規定する長期譲渡所得の金額（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第33条の4第1項若しくは第2項、第34条第1項、第34条の2第1項、第34条の3第1項、第35条第1項、第35条の2第1項、第35条の3第1項又は第36条の規定の適用がある場合には、これらの規定の適用により同法第31条第1項に

用（国民健康保険の事務の執行に要する費用を除く。）のための収入（法附則第9条第1項の規定により読み替えられた法第72条の3第1項及び第72条の3の2第1項の規定による繰入金及び国民健康保険給付費等交付金（退職被保険者等の療養の給付等に要する費用に係るものに限る。）を除く。）の額

（一般被保険者に係る基礎賦課額の所得割額の算定）

第11条 前条の所得割額は、一般被保険者に係る賦課期日の属する年の前年の所得に係る地方税法（昭和25年法律第226号）第314条の2第1項に規定する総所得金額及び山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額（同法附則第33条の2第5項に規定する上場株式等に係る配当所得等の金額（同法附則第35条の2の6第11項又は第15項の規定の適用がある場合には、その適用後の金額）、同法附則第33条の3第5項に規定する土地等に係る事業所得等の金額、同法附則第34条第4項に規定する長期譲渡所得の金額（租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第33条の4第1項若しくは第2項、第34条第1項、第34条の2第1項、第34条の3第1項、第35条第1項、第35条の2第1項、第35条の3第1項又は第36条の規定の適用がある場合には、これらの規定の適用により同法第31条第1項に

規定する長期譲渡所得の金額から控除する金額を控除した金額），地方税法附則第35条第5項に規定する短期譲渡所得の金額（租税特別措置法第33条の4第1項若しくは第2項，第34条第1項，第34条の2第1項，第34条の3第1項，第35条第1項又は第36条の規定の適用がある場合には，これらの規定の適用により同法第32条第1項に規定する短期譲渡所得の金額から控除する金額を控除した金額），地方税法附則第35条の2第5項に規定する一般株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の3第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の2の2第5項に規定する上場株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の2の6第11項又は第35条の3第13項若しくは第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の4第4項に規定する先物取引に係る雑所得等の金額（同法附則第35条の4の2第7項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律（昭和37年法律第144号）第8条第2項（同法第12条第5項及び第16条第2項において準用する場合を含む。第35条第1項第1号において同じ。）に規定する特例適用利子等の額，同法第8条第4項（同法第12条第6項及び第16条第3項において準用する場合を含む。

規定する長期譲渡所得の金額から控除する金額を控除した金額），地方税法附則第35条第5項に規定する短期譲渡所得の金額（租税特別措置法第33条の4第1項若しくは第2項，第34条第1項，第34条の2第1項，第34条の3第1項，第35条第1項又は第36条の規定の適用がある場合には，これらの規定の適用により同法第32条第1項に規定する短期譲渡所得の金額から控除する金額を控除した金額），地方税法附則第35条の2第5項に規定する一般株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の3第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の2の2第5項に規定する上場株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の2の6第15項又は第35条の3第13項若しくは第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の4第4項に規定する先物取引に係る雑所得等の金額（同法附則第35条の4の2第7項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律（昭和37年法律第144号）第8条第2項（同法第12条第5項及び第16条第2項において準用する場合を含む。第35条第1項第1号において同じ。）に規定する特例適用利子等の額，同法第8条第4項（同法第12条第6項及び第16条第3項において準用する場合を含む。

同号において同じ。)に規定する特例適用
配当等の額、租税条約等の実施に伴う所得
税法、法人税法及び地方税法の特例等に関
する法律(昭和44年法律第46号。第35条に
おいて「租税条約等実施特例法」とい
う。)第3条の2の2第10項に規定する条
約適用利子等の額及び同条第12項に規定す
る条約適用配当等の額をいう。以下この条
において同じ。)の合計額から地方税法第
314条の2第2項の規定による控除をした
後の総所得金額及び山林所得金額並びに他
の所得と区分して計算される所得の金額の
合計額(以下「基礎控除後の総所得金額
等」という。)に、次条第1号の所得割の
保険料率を乗じて算定する。

2 略

(一般被保険者に係る後期高齢者支援金等
賦課総額)

第18条 保険料の賦課額のうち一般被保険者
に係る後期高齢者支援金等賦課額(第35
条、第36条の2及び第36条の3の規定によ
り後期高齢者支援金等賦課額を減額するも
のとした場合にあつては、その減額するこ
とになる額を含む。)の総額(以下「後期
高齢者支援金等賦課総額」という。)は、
第1号に掲げる額の見込額から第2号に掲
げる額の見込額を控除した額を基準として
算定した額とする。

(1) 略

(2) 当該年度における次に掲げる額の合

同号において同じ。)に規定する特例適用
配当等の額、租税条約等の実施に伴う所得
税法、法人税法及び地方税法の特例等に関
する法律(昭和44年法律第46号。第35条に
おいて「租税条約等実施特例法」とい
う。)第3条の2の2第10項に規定する条
約適用利子等の額及び同条第12項に規定す
る条約適用配当等の額をいう。以下この条
において同じ。)の合計額から地方税法第
314条の2第2項の規定による控除をした
後の総所得金額及び山林所得金額並びに他
の所得と区分して計算される所得の金額の
合計額(以下「基礎控除後の総所得金額
等」という。)に、次条第1号の所得割の
保険料率を乗じて算定する。

2 略

(一般被保険者に係る後期高齢者支援金等
賦課総額)

第18条 保険料の賦課額のうち一般被保険者
に係る後期高齢者支援金等賦課額(第35条
及び第36条の2の規定により後期高齢者支
援金等賦課額を減額するものとした場合に
あつては、その減額することになる額を含
む。)の総額(以下「後期高齢者支援金等
賦課総額」という。)は、第1号に掲げる
額の見込額から第2号に掲げる額の見込額
を控除した額を基準として算定した額とす
る。

(1) 略

(2) 当該年度における次に掲げる額の合

算額

ア 略

イ その他国民健康保険事業に要する費用（国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用に限る。）のための収入（法附則第9条第1項の規定により読み替えられた法第72条の3第1項、第72条の3の2第1項及び第72条の3の3第1項の規定による繰入金を除く。）の額

（介護納付金賦課総額）

第27条 保険料の賦課額のうち介護納付金賦課額（第35条及び第36条の3の規定により介護納付金賦課額を減額するものとした場合にあつては、その減額することになる額を含む。）の総額（以下「介護納付金賦課総額」という。）は、第1号に掲げる額の見込額から第2号に掲げる額の見込額を控除した額を基準として算定した額とする。

（1） 略

（2） 当該年度における次に掲げる額の合算額

ア 略

イ その他国民健康保険事業に要する費用（国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用に限る。）のための収入（法附則第9条第1項の規定により読み替えられた法第72条の3第1項及び第72条の3の3第1項の規定による繰入金を除く。）の額

算額

ア 略

イ その他国民健康保険事業に要する費用（国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用に限る。）のための収入（法附則第9条第1項の規定により読み替えられた法第72条の3第1項及び第72条の3の2第1項の規定による繰入金を除く。）の額

（介護納付金賦課総額）

第27条 保険料の賦課額のうち介護納付金賦課額（第35条の規定により介護納付金賦課額を減額するものとした場合にあつては、その減額することになる額を含む。）の総額（以下「介護納付金賦課総額」という。）は、第1号に掲げる額の見込額から第2号に掲げる額の見込額を控除した額を基準として算定した額とする。

（1） 略

（2） 当該年度における次に掲げる額の合算額

ア 略

イ その他国民健康保険事業に要する費用（国民健康保険事業費納付金の納付に要する費用に限る。）のための収入（法附則第9条第1項の規定により読み替えられた法第72条の3第1項の規定による繰入金を除く。）の額

(賦課期日後において納付義務の発生若しくは消滅又は被保険者数の異動等があった場合における基礎賦課額等の算定)

第34条 保険料の賦課期日後に納付義務が発生し、若しくは1世帯に属する被保険者数が増加し、若しくは減少し、若しくは1世帯に属する被保険者が介護納付金賦課被保険者となり、若しくは介護納付金賦課被保険者でなくなり、若しくは法施行令第29条の7の2第2項に規定する特例対象被保険者等(以下「特例対象被保険者等」という。)となった場合における当該納付義務者に係る第10条、第13条、第19条若しくは第22条の額(被保険者数が増加し、若しくは減少した場合(特定同一世帯所属者に該当することにより被保険者数が減少した場合を除く。))又は特例対象被保険者等となった場合における当該納付義務者に係る世帯別平等割額を除く。)若しくは第28条の額又は次条第1項各号(同条第3項又は第4項の規定により読み替えて準用する場合を含む。次項において同じ。)に定める額、第36条の2第1項(同条第2項の規定により読み替えて準用する場合を含む。次項において同じ。)に定める第12条若しくは第15条の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料率にそれぞれ10分の5を乗じて得た額、第36条の2第3項第1号(同条第4項の規定により読み替えて準用する場合を含む。次項において同じ。)に定める額、第

(賦課期日後において納付義務の発生若しくは消滅又は被保険者数の異動等があった場合における基礎賦課額等の算定)

第34条 保険料の賦課期日後に納付義務が発生し、若しくは1世帯に属する被保険者数が増加し、若しくは減少し、又は1世帯に属する被保険者が介護納付金賦課被保険者となり、若しくは介護納付金賦課被保険者でなくなり、若しくは法施行令第29条の7の2第2項に規定する特例対象被保険者等(以下「特例対象被保険者等」という。)となった場合における当該納付義務者に係る第10条、第13条、第19条若しくは第22条の額(被保険者数が増加し、若しくは減少した場合(特定同一世帯所属者に該当することにより被保険者数が減少した場合を除く。))又は特例対象被保険者等となった場合における当該納付義務者に係る世帯別平等割を除く。)若しくは第28条の額又は次条第1項各号に定める額若しくは同条第3項若しくは第4項の規定により読み替えて準用する同条第1項各号に定める額の算定は、それぞれ、その納付義務が発生し、若しくは被保険者数が増加し、若しくは減少した日(法第6条第1号から第8号までの規定のいずれかに該当したことにより被保険者数が減少した場合においては、その減少した日が月の初日であるときに限り、その前日とする。)又は1世帯に属する被保険者が介護納付金賦課被保険者となり、若

36条の3第1項各号（同条第3項又は第4項の規定により読み替えて準用する場合を含む。次項において同じ。）に定める額若しくは同条第5項各号（同条第7項又は第8項の規定により読み替えて準用する場合を含む。次項において同じ。）に定める額の算定は、それぞれ、その納付義務が発生し、若しくは被保険者数が増加し、若しくは減少した日（法第6条第1号から第8号までの規定のいずれかに該当したことにより被保険者数が減少した場合においては、その減少した日が月の初日であるときに限り、その前日とする。）又は1世帯に属する被保険者が介護納付金賦課被保険者となり、若しくは介護納付金賦課被保険者でなくなった日若しくは特例対象被保険者等となった日の属する月から、月割をもって行う。

2 保険料の賦課期日後に納付義務が消滅した場合における当該納付義務者に係る第10条、第13条、第19条若しくは第22条の額若しくは第28条の額又は次条第1項各号に定める額、第36条の2第1項に定める第12条若しくは第15条の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料率にそれぞれ10分の5を乗じて得た額、第36条の2第3項第1号に定める額、第36条の3第1項各号に定める額若しくは同条第5項各号に定める額の算定は、その納付義務が消滅した日（法第6条第1号から第8号までの規定のいずれかに

しくは介護納付金賦課被保険者でなくなった日若しくは特例対象被保険者等となった日の属する月から、月割をもって行う。

2 保険料の賦課期日後に納付義務が消滅した場合における当該納付義務者に係る第10条、第13条、第19条若しくは第22条の額若しくは第28条の額又は次条第1項各号に定める額若しくは同条第3項若しくは第4項の規定により読み替えて準用する同条第1項各号に定める額の算定は、その納付義務が消滅した日（法第6条第1号から第8号までの規定のいずれかに該当したことにより納付義務が消滅した場合においては、その消滅した日が月の初日であるときに限り、その前日とする。）の属する月の前月

該当したことにより納付義務が消滅した場合においては、その消滅した日が月の初日であるときに限り、その前日とする。)の属する月の前月まで、月割をもって行う。

(低所得者の保険料の減額)

第35条 次の各号に該当する納付義務者に対して課する保険料の賦課額のうち基礎賦課額は、第10条又は第13条の基礎賦課額から、それぞれ、当該各号に定める額を減額して得た額(当該減額して得た額が65万円を超える場合には、65万円)とする。

(1) 世帯主、当該年度の保険料賦課期日

(賦課期日後に保険料の納付義務が発生した場合にはその発生した日とする。)

現在においてその世帯に属する被保険者及び特定同一世帯所属者につき算定した地方税法第314条の2第1項に規定する総所得金額(青色専従者給与額又は事業専従者控除額については、同法第313条第3項、第4項又は第5項の規定を適用せず、所得税法(昭和40年法律第33号)第57条第1項、第3項又は第4項の規定の例によらないものとし、山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額(地方税法附則第33条の2第5項に規定する上場株式等に係る配当所得等の金額(同法附則第35条の2の6第8項又は第11項の規定の適用がある場合には、その適用後の金額)、同法附則第33条の3第5項に規定する土地等に係る事

まで、月割りをもって行う。

(低所得者の保険料の減額)

第35条 次の各号に該当する納付義務者に対して課する保険料の賦課額のうち基礎賦課額は、第10条又は第13条の基礎賦課額から、それぞれ、当該各号に定める額を減額して得た額(当該減額して得た額が65万円を超える場合には、65万円)とする。

(1) 世帯主、当該年度の保険料賦課期日

(賦課期日後に保険料の納付義務が発生した場合にはその発生した日とする。)

現在においてその世帯に属する被保険者及び特定同一世帯所属者につき算定した地方税法第314条の2第1項に規定する総所得金額(青色専従者給与額又は事業専従者控除額については、同法第313条第3項、第4項又は第5項の規定を適用せず、所得税法(昭和40年法律第33号)第57条第1項、第3項又は第4項の規定の例によらないものとし、山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額(地方税法附則第33条の2第5項に規定する上場株式等に係る配当所得等の金額(同法附則第35条の2の6第11項又は第15項の規定の適用がある場合には、その適用後の金額)、同法附則第33条の3第5項に規定する土地等に係る事

業所得等の金額，同法附則第34条第4項に規定する長期譲渡所得の金額，同法附則第35条第5項に規定する短期譲渡所得の金額，同法附則第35条の2第5項に規定する一般株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の3第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の2の2第5項に規定する上場株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の2の6第11項又は第35条の3第13項若しくは第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の4第4項に規定する先物取引に係る雑所得等の金額（同法附則第35条の4の2第7項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律第8条第2項に規定する特例適用利子等の額，同法第8条第4項に規定する特例適用配当等の額，租税条約等実施特例法第3条の2の2第10項に規定する条約適用利子等の額及び同条第12項に規定する条約適用配当等の額をいう。以下この項において同じ。）の算定についても同様とする。以下同じ。）及び山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額の合算額が，地方税法第314条の2第2項第1号に定める金額（世帯主並びに当該世帯主の世帯に属する

業所得等の金額，同法附則第34条第4項に規定する長期譲渡所得の金額，同法附則第35条第5項に規定する短期譲渡所得の金額，同法附則第35条の2第5項に規定する一般株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の3第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の2の2第5項に規定する上場株式等に係る譲渡所得等の金額（同法附則第35条の2の6第15項又は第35条の3第13項若しくは第15項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），同法附則第35条の4第4項に規定する先物取引に係る雑所得等の金額（同法附則第35条の4の2第7項の規定の適用がある場合には，その適用後の金額），外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律第8条第2項に規定する特例適用利子等の額，同法第8条第4項に規定する特例適用配当等の額，租税条約等実施特例法第3条の2の2第10項に規定する条約適用利子等の額及び同条第12項に規定する条約適用配当等の額をいう。以下この項において同じ。）の算定についても同様とする。以下同じ。）及び山林所得金額並びに他の所得と区分して計算される所得の金額の合算額が，地方税法第314条の2第2項第1号に定める金額（世帯主並びに当該世帯主の世帯に属する

被保険者及び特定同一世帯所属者（次号及び第3号において「世帯主等」という。）のうち給与所得を有する者（前年中に同条第1項に規定する総所得金額に係る所得税法第28条第1項に規定する給与所得について同条第3項に規定する給与所得控除額の控除を受けた者（同条第1項に規定する給与等の収入金額が55万円を超える者に限る。）をいう。以下この号において同じ。）の数及び公的年金等に係る所得を有する者（前年中に地方税法第314条の2第1項に規定する総所得金額に係る所得税法第35条第3項に規定する公的年金等に係る所得について同条第4項に規定する公的年金等控除額の控除を受けた者（年齢65歳未満の者にあつては当該公的年金等の収入金額が60万円を超える者に限り、年齢65歳以上の者にあつては当該公的年金等の収入金額が110万円を超える者に限る。）をいい、給与所得を有する者を除く。）の数の合計数（次号及び第3号において「給与所得者等の数」という。）が2以上の場合にあっては、地方税法第314条の2第2項第1号に定める金額に当該給与所得者等の数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加えた金額）を超えない世帯に係る保険料の納付義務者 アに掲げる額に当該世帯に属する被保険者のうち当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等

被保険者及び特定同一世帯所属者（次号及び第3号において「世帯主等」という。）のうち給与所得を有する者（前年中に同条第1項に規定する総所得金額に係る所得税法第28条第1項に規定する給与所得について同条第3項に規定する給与所得控除額の控除を受けた者（同条第1項に規定する給与等の収入金額が55万円を超える者に限る。）をいう。以下この号において同じ。）の数及び公的年金等に係る所得を有する者（前年中に地方税法第314条の2第1項に規定する総所得金額に係る所得税法第35条第3項に規定する公的年金等に係る所得について同条第4項に規定する公的年金等控除額の控除を受けた者（年齢65歳未満の者にあつては当該公的年金等の収入金額が60万円を超える者に限り、年齢65歳以上の者にあつては当該公的年金等の収入金額が110万円を超える者に限る。）をいい、給与所得を有する者を除く。）の数の合計数（次号及び第3号において「給与所得者等の数」という。）が2以上の場合にあっては、地方税法第314条の2第2項第1号に定める金額に当該給与所得者等の数から一を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加えた金額）を超えない世帯に係る保険料の納付義務者 アに掲げる額に当該世帯に属する被保険者のうち当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等

割額の算定の対象とされるものの数を乗じて得た額とイに掲げる額とを合算した額

ア・イ 略

(2)・(3) 略

2～4 略

(未就学児の被保険者均等割額の減額)

第36条の2 当該年度において、その世帯に6歳に達する日以後の最初の3月31日以前である被保険者（以下「未就学児」という。）がある場合における当該被保険者に係る当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等割額は、第12条又は第15条の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料率から、当該保険料率に、それぞれ、10分の5を乗じて得た額を控除して得た額とする（第3項に掲げる場合を除く。）。

2 略

3 当該年度において、第35条に規定する基準に従い保険料を減額するものとした納付義務者の世帯に未就学児がある場合における当該未就学児に係る当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等割額は、第1号に掲げる額から第2号に掲げる額を控除して得た額とする。

(1) 第12条又は第15条の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料率から、当該保険料率に第35条第1項各号に規定する場合に応じてそれぞれ同項各号アに掲げる割合を乗じて得た額を控除して得た額

割額の算定の対象とされるものの数を乗じて得た額とイに掲げる額とを合算した額

ア・イ 略

(2)・(3) 略

2～4 略

(未就学児の被保険者均等割額の減額)

第36条の2 当該年度において、その世帯に6歳に達する日以後の最初の3月31日以前である被保険者（以下「未就学児」という。）がある場合における当該被保険者に係る当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等割額は、第12条又は第15条の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料額から、当該保険料額に、それぞれ、10分の5を乗じて得た額を控除して得た額とする（第3項に掲げる場合を除く。）。

2 略

3 当該年度において、第35条に規定する基準に従い保険料を減額するものとした納付義務者の世帯に未就学児がある場合における当該未就学児に係る当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等割額は、第1号に掲げる額から第2号に掲げる額を控除して得た額とする。

(1) 第12条又は第15条の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料額から、当該保険料額に第35条第1項各号に規定する場合に応じてそれぞれ同項各号アに掲げる割合を乗じて得た額を控除して得た額

(2) 略

4 略

(出産被保険者の保険料の減額)

第36条の3 当該年度において、世帯に出産被保険者（法施行令第29条の7第5項第8号に規定する出産被保険者をいう。以下同じ。）がある場合における当該世帯の納付義務者に対して課する保険料の賦課額のうち基礎賦課額は、第10条又は第13条の基礎賦課額から、次に掲げる額の合算額を減額して得た額（当該減額して得た額が65万円を超える場合には、65万円）とする（第5項に掲げる場合を除く。）。

(1) 当該出産被保険者に係る基礎控除後の総所得金額等に当該年度分の基礎賦課額の所得割の保険料率を乗じて得た額に12分の1を乗じて得た額に、当該出産被保険者の出産の予定日（国民健康保険法施行規則（昭和33年厚生省令第53号）第32条の10の2で定める場合には、出産の日。第44条の2第1項及び第2項において同じ。）の属する月（以下この号において「出産予定月」という。）の前月（多胎妊娠の場合には、3月前）から出産予定月の翌々月までの期間（以下「産前産後期間」という。）のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額

(2) 当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料率に12分の1を乗じて得た額に、当該出産被保険者の産前産後期

(2) 略

4 略

間のうち当該年度に属する月数を乗じて
得た額

2. 第35条第2項の規定は、前項各号に定めるところにより算定した額の決定について準用する。この場合において、同条第2項中「前項各号ア及びイに規定する額」とあるのは「前項各号に定めるところにより算定した額」と読み替えるものとする。
3. 前2項の規定は、後期高齢者支援金等賦課額の減額について準用する。この場合において、第1項中「基礎賦課額」とあるのは「後期高齢者支援金等賦課額」と、「第10条又は第13条」とあるのは「第19条又は第22条」と、「65万円」とあるのは「22万円」と読み替えるものとする。
4. 第1項及び第2項の規定は、介護納付金賦課額の減額について準用する。この場合において、第1項中「規定する出産被保険者をいう。以下同じ。」とあるのは「規定する出産被保険者（介護納付金賦課被保険者である者に限る。）をいう。以下この項において同じ。」と、「基礎賦課額」とあるのは「介護納付金賦課額」と、「第10条又は第13条」とあるのは「第28条」と、「65万円」とあるのは「17万円」と読み替えるものとする。
5. 当該年度において、第35条に規定する基準に従い保険料を減額するものとした納付義務者の世帯に出産被保険者がある場合における当該世帯の納付義務者に対して課す

る保険料の賦課額のうち基礎賦課額は、当該減額後の第10条又は第13条の基礎賦課額から、次に掲げる額の合算額を減額して得た額（当該減額して得た額が65万円を超える場合には、65万円）とする。

(1) 当該出産被保険者に係る基礎控除後の総所得金額等に当該年度分の基礎賦課額の所得割の保険料率を乗じて得た額に12分の1を乗じて得た額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額

(2) 当該年度分の基礎賦課額の被保険者均等割の保険料率から、当該保険料率に第35条第1項各号に規定する場合に応じてそれぞれ同項各号アに掲げる割合を乗じて得た額を控除して得た額に12分の1を乗じて得た額に、当該出産被保険者の産前産後期間のうち当該年度に属する月数を乗じて得た額

6 第35条第2項の規定は、前項各号に定めるところにより算定した額の決定について準用する。この場合において、同条第2項中「前項各号ア及びイに規定する額」とあるのは「前項各号に定めるところにより算定した額」と読み替えるものとする。

7 前2項の規定は、後期高齢者支援金等賦課額の減額について準用する。この場合において、第5項中「基礎賦課額」とあるのは「後期高齢者支援金等賦課額」と、「第10条又は第13条」とあるのは「第19条又は

第22条」と、「65万円」とあるのは「22万円」と読み替えるものとする。

8 第5項及び第6項の規定は、介護納付金賦課額の減額について準用する。この場合において、第5項中「出産被保険者が」とあるのは「出産被保険者（介護納付金賦課被保険者である者に限る。以下この項において同じ。）が」と、「基礎賦課額」とあるのは「介護納付金賦課額」と、「第10条又は第13条」とあるのは「第28条」と、「65万円」とあるのは「17万円」と読み替えるものとする。

（特例対象被保険者等に係る届出）

第44条 特例対象被保険者等の属する世帯の世帯主は、次に掲げる事項を記載した届出書を市長に提出しなければならない。

- (1) 世帯主の氏名及び住所
- (2) 特例対象被保険者等の氏名及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条第5項に規定する個人番号（次条第1項において「個人番号」という。）

(3) 特例対象被保険者等の離職年月日

(4) 特例対象被保険者等の離職理由

2 略

（出産被保険者に係る届出）

第44条の2 出産被保険者の属する世帯の世帯主は、次に掲げる事項を記載した届出書を市長に提出しなければならない。

（特例対象被保険者等に係る届出）

第44条 特例対象被保険者等の属する世帯の世帯主は、次に掲げる事項を記載した届出書を市長に提出しなければならない。

(1) 氏名及び住所

(2) 特例対象被保険者等の氏名

(3) 離職年月日

(4) 離職理由

2 略

(1) 世帯主の氏名，住所，生年月日及び個人番号

(2) 出産被保険者の氏名，住所，生年月日及び個人番号

(3) 出産被保険者の出産の予定日

(4) 単胎妊娠又は多胎妊娠の別

2 前項の届出書には，次に掲げる書類を添えなければならない。

(1) 出産の予定日を明らかにすることができる書類

(2) 多胎妊娠の場合にあっては，その旨を明らかにすることができる書類

(3) 出産後に前項の規定による届出を行う場合にあっては，出産した被保険者と当該出産に係る子との身分関係を明らかにすることができる書類

3 第1項の規定による届出は，出産被保険者の出産の予定日の6月前から行うことができる。

4 第1項の規定にかかわらず，市長は，出産被保険者について同項各号に掲げる事項及び第2項各号に掲げる書類において明らかにすべき事項を確認することができるときは，第1項の規定による届出を省略させることができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は，令和6年1月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の第36条の3の規定は，令和5年度分の保険料のうち令和6年1月以後

の期間に係るもの及び令和6年度以後の年度分の保険料について適用し、令和5年度分の保険料のうち令和5年12月以前の期間に係るもの及び令和4年度以前の年度分の保険料については、なお従前の例による。

工事請負契約の締結について
次のとおり工事請負契約を締結する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

- 1 工 事 名 大木中学校外構及びグラウンド整備工事
- 2 工 事 場 所 鈴鹿市北堀江二丁目地内
- 3 契 約 金 額 215,523,000円
- 4 契約の相手方 西口建工・奥村産業特定建設工事共同企業体
鈴鹿市岸岡町3371番地
西口建工株式会社
代表取締役 林 健一郎
鈴鹿市椿一宮町1612番地
株式会社奥村産業
代表取締役 長野 真也
- 5 工 期 議決の日から令和7年3月10日まで

提案理由

大木中学校外構及びグラウンド整備工事について、相手方と工事請負契約を締結するに当たり、地方自治法第96条第1項及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条第1項の規定により、この議案を提出する。

指定管理者の指定について
次のとおり指定管理者を指定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

1 管理を行わせようとする公の施設の名称及び所在地

(1) 名称 鈴鹿市民会館

所在地 鈴鹿市神戸一丁目18番18号

(2) 名称 鈴鹿市文化会館

所在地 鈴鹿市飯野寺家町810番地

2 指定管理者となる相手方

鈴鹿アートライフデザイン

東京都港区芝三丁目23番1号

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

代表取締役 古野 浩樹

兵庫県神戸市中央区海岸通6番地

国際ライフパートナー株式会社

代表取締役 荒谷 明彦

大阪府大阪市中心区難波二丁目2番3号

近鉄ファシリティーズ株式会社

取締役社長 則竹 博安

3 指定の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

提案理由

指定管理者を指定するについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、この議案を提出する。

市道の認定について
次の路線を市道に認定する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

市道認定路線調書
(別 紙)

提案理由

市道路線として認定するについて、道路法第8条第2項の規定により、この議案を提出する。

市道認定路線調書

路線番号	路線名	起点	主要な経過地	延長 (m)
		終点		幅員 (m)
043462	平田本町一丁目 462 号線	平田本町一丁目	平田本町一丁 目	106.0
		平田本町一丁目		6.0～7.4
103564	長太旭町六丁目 564 号線	長太旭町六丁目	長太旭町六丁 目	35.8
		長太旭町六丁目		6.1～13.1
123887	北玉垣 887 号線	北玉垣町字小塚	北玉垣町	65.0
		北玉垣町字小塚		6.0～13.0
123888	南玉垣 888 号線	南玉垣町字新町	南玉垣町	80.9
		南玉垣町字新町		6.0～13.1
123889	南玉垣 889 号線	南玉垣町字新町	南玉垣町	45.7
		南玉垣町字新町		6.0
123890	東玉垣 890 号線	東玉垣町字山神戸	東玉垣町	27.3
		東玉垣町字山神戸		5.0～12.6
223272	伊船 272 号線	伊船町字北上ノ割	伊船町	190.0
		伊船町字北上ノ割		3.1～8.6
223273	伊船 273 号線	伊船町字中上ノ割	伊船町	235.3
		伊船町字中上ノ割		3.1～8.3

市道の廃止について
次の路線を廃止する。

令和5年11月24日提出

鈴鹿市長 末松 則子

市道廃止路線調書
(別 紙)

提案理由

市道路線を廃止するについて、道路法第10条第3項において準用する同法第8条第2項の規定により、この議案を提出する。

市道廃止路線調書

路線番号	路線名	起点	主要な経過地	延長 (m)
		終点		幅員 (m)
013518	国府 518 号線	国府町字新開	国府町	700.0
		国府町字国府		3.7～ 4.3
223106	伊船 106 号線	伊船町字北上ノ割	伊船町	602.6
		伊船町字中上ノ割		3.1～ 8.3
223107	伊船 107 号線	伊船町字北下ノ割	伊船町	246.4
		伊船町字北上ノ割		1.6～ 3.9
223252	伊船 252 号線	伊船町字北上ノ割	伊船町	482.1
		伊船町字北下ノ割		1.9～ 3.7
223253	伊船 253 号線	伊船町字北上ノ割	伊船町	143.3
		伊船町字北下ノ割		3.9～10.3